

# LA4JP AND LA8JP PRESET LIBRARIES

VERSION 2.2.2.3A



ユーザーマニュアル JP

LA4JP preset library (V2.2)  
LA8JP preset library (V2.3)



# 1 目次

<b>2 はじめに</b>	<b>3</b>
2.1 全般的に.....	3
2.2 マークの説明.....	3
2.3 ウェブリンク.....	3
<b>3 プリセット・ゲインの構成</b>	<b>4</b>
<b>4 LA4JP プリセットライブラリー (version 2.2)</b>	<b>5</b>
4.1 プリセットの解説表.....	5
4.2 メインシステムと、サブウーファーシステムを併用する場合のディレイ値.....	8
4.3 KIVA WST® システム.....	11
4.3.1 “フルレンジ”モード: [KIVA]、[KIVA_FI]プリセット.....	11
4.3.2 “ロー・エクステンション”モード:[KIVA_KILO]、[KIVA_KILO_60]プリセット.....	11
4.4 ARCS® WST® システム.....	12
4.4.1 “フルレンジ”モード:[ARCS_LO]、[ARCS_HI ] プリセット.....	12
4.4.2 “ハイ・パス”モード:[ARCS_xx_60]、[ARCS_xx_100]プリセット.....	13
4.4.3 “ハイブリッド”モード:[ARCS_S118_LO]、[ARCS_S118_HI]プリセット.....	13
4.5 パッシブ・コアキシャルエンクロージャー.....	14
4.5.1 “フルレンジ”モード:[xxx_FR]、[xxx_FI]、[xxx_MO]プリセット.....	14
4.5.2 “ハイ・パス”モード: [xxx_FR_100]、[xxx_FI_100]、[xxx_MO_100]プリセット.....	15
4.5.3 “ハイブリッド”モード: [xxx_SB118]プリセット.....	15
4.6 アクティブ・コアキシャルエンクロージャー.....	16
4.6.1 “フルレンジ”モード: [xxx_FR]、[xxx_FI]、[xxx_MO]プリセット.....	16
4.6.2 “ハイパス”モード: [xxx_FR_100]、[xxx_FI_100]、[xxx_MO_100]プリセット.....	16
4.7 サブウーファーエンクロージャー.....	17
4.7.1 “スタンダード”モード: [SB18_60]、[SB18_100] と [SB118_60]、[SB118_100]プリセット.....	17
4.7.2 “カーディオイド”モード: [SB18_60_C]、[SB18_100_C] と [SB118_60_C]、[SB118_100_C] プリセット.....	18
<b>5 LA8JPプリセットライブラリー (version 2.3)</b>	<b>20</b>
5.1 プリセットの解説表.....	20
5.2 メインシステムとサブウーファーシステムを併用する場合のディレイ値.....	23
5.3 K1 WST® システム.....	26
5.3.1 “フルレンジ”モード: [K1] プリセット.....	26
5.3.2 “拡張”モード: [K1SB_X]、か [K1SB_60]と組み合わせられる [K1]プリセット.....	26
5.4 V-DOSC® WST® システム.....	27
5.4.1 “フルレンジ”モード: [V-DOSC]、[V-DOSC_HI]プリセット.....	27
5.4.2 “ハイパス”モード: [V-DOSC_LO_60]、[V-DOSC_HI_60]プリセット.....	27
5.4.3 “拡張”モード: [V-DOSC_LO_X]と[V-DOSC_HI_X]プリセット.....	28
5.5 KUDO® WST® システム.....	28
5.5.1 “フルレンジ”モード: [KUDOxx 25]、[KUDOxx 40]プリセット.....	28
5.5.2 “ハイパス”モード: [KUDOxx_60]プリセット.....	29
5.6 KARA® WST®システム.....	30
5.6.1 “フルレンジ”モード: [KARA] プリセット.....	30
5.6.2 “ハイパス”モード: [KARA FI ]、[KARADOWNK1 ]プリセット.....	30
5.6.3 “ロー・エクステンション”モード: [KARA] プリセット.....	31
5.7 dV-DOSC WST® システム.....	32
5.7.1 “フルレンジ”モード: [dV_LO]、[dV_HI]プリセット.....	32
5.7.2 “ハイパス”モード: [dV_LO_100]、[dV_HI_100]、[dV_FI] プリセット.....	32
5.7.3 “ロー・エクステンション”モード: [dV_dV-S_xx]と[dV_dV-S_xx60]プリセット.....	33
5.8 ARCS II® WST® システム.....	34
5.8.1 “フルレンジ”モード: [ARCS II] プリセット.....	34
5.8.2 “ロー・エクステンション”モード: [ARCS II] プリセット.....	34

# LA4JP AND LA8JP PRESET LIBRARIES

ユーザーマニュアル

VERSION 2.2.2.3A

5.9	ARCS® WST® システム .....	35
5.9.1	“フルレンジ”モード:[ARCS_LO]、[ARCS_HI]プリセット .....	35
5.9.2	“ハイ・パス”モード:[ARCS_xx_60]、[ARCS_xx_100]プリセット .....	35
5.10	115XT HiQ コアキシャルエンクロージャー .....	36
5.10.1	“フルレンジ”モード: [HIQ_FR]、[HIQ_FI]、[HIQ_MO]プリセット .....	36
5.10.2	“ハイパス”モード: [HIQ_FR_100]、[HIQ_FI_100]、[HIQ_MO_100]プリセット .....	36
5.11	サブウーファーエンクロージャー .....	37
5.11.1	“スタンダード”モード: [SBxxx_60]、[SBxxx_100]、[dV-S_60_100]、[dV-S_100]プリセット .....	37
5.11.2	“カーディオイド”モード: [SBxxx_60_C]、[SBxxx_100_C] プリセット .....	39
5.11.3	“拡張”モード: [SB218_X]、[dV-S_60_X]、[dV-S_X] プリセット .....	40

## 2 はじめに

### 2.1 全般的に

このマニュアルでは、LA4JP(V2.2)と LA8JP(V2.3)アンプリファイドコントローラー専用プリセットライブラリーの取扱に関して、情報を記載しています。


LA4JP/LA8JP にファームウェアをインストールするには、**LA4JP もしくは LA8JP ファームウェアパック**[2.3]を使用し、必要に応じて **LA4JP もしくは LA8JP プリセットライブラリーパック**[2.3]を使用してプリセットライブラリーをインストールしてください。

LA4JP/LA8JP にプリセットをロードするには、フロントパネルから **LOAD PRESET メニュー**を起動し、任意の**プリセット**を選択してください。さらに詳しい情報は、**LA4JP もしくは LA8JP のユーザーマニュアル**[2.3]をご参照ください。プリセットは、**LA NETWORK MANAGER ソフトウェア**[2.3]を使用してアクセスすることも可能です。

このマニュアルに記載される製品の詳細については、該当する**ユーザーマニュアル**[2.3]をご参照ください。

### 2.2 マークの説明

本マニュアルでは関連がある事柄について、次のマークで表しています。




IMPORTANT のマークは、使用するにあたって推奨する重要な点を表わしています。

本マニュアルにおいて、[]のついた番号は該当するセクションを意味します。例えば、[2.2]とすると、このセクションを意味します。

### 2.3 ウェブリンク

最新のドキュメントおよびアプリケーションのアップデートは L-ACOUSTICS®社のウェブサイトをご定期的にご覧になりご確認ください。表 1 では、本マニュアルで述べられているダウンロード可能なアイテムのリンクが示されています。



常に最新バージョンのドキュメントを参照するようにしてください。  
常に最新バージョンのソフトウェアアプリケーションを使用するようにしてください。

表 1: ドキュメントとソフトウェアのアプリケーション

全ての製品	<a href="http://www.l-acoustics.com/+製品名">www.l-acoustics.com/+製品名</a>
LA NETWORK MANAGER ユーザーマニュアル	<a href="http://www.l-acoustics.com/la-network-manager">www.l-acoustics.com/la-network-manager</a> (ユーザーマニュアル)
LA NETWORK MANAGER ソフトウェアパック	<a href="http://www.l-acoustics.com/la-network-manager">www.l-acoustics.com/la-network-manager</a> (ソフトウェアダウンロード)
LA4JP ファームウェアパック	<a href="http://www.l-acoustics.com/LA4jp">www.l-acoustics.com/LA4jp</a> (LA4JP ファームウェア)
LA8JP ファームウェアパック	<a href="http://www.l-acoustics.com/LA8jp">www.l-acoustics.com/LA8jp</a> (LA8JP ファームウェア)
LA4JP プリセットライブラリーパック	<a href="http://www.l-acoustics.com/LA4jp">www.l-acoustics.com/LA4jp</a> (LA4JP プリセットライブラリー)
LA8JP プリセットライブラリーパック	<a href="http://www.l-acoustics.com/LA8jp">www.l-acoustics.com/LA8jp</a> (LA8JP プリセットライブラリー)

## 3 プリセット・ゲインの構成

全ての L-ACOUSTICS®エンクロージャー(8XT, KIVA, KILO を除く)が、LA4JP/LA8JP に入力されている信号と同じ値のパワーリミットに達するよう、全プリセット・ゲインがキャリブレーションされています。インプットシグナルの値は一般的な音楽信号の場合、+8dBu です(8XT, KIVA, KILO の場合は、+4dBu)。

このゲインの構成は、システムのインストールとパワーリソース(左右のシステム、併用するサブウーファー、サイド・システム)を簡単に最適化するために取り入れています。

### メインシステムとサブウーファーシステムを含んだ例

もしも、サブウーファーシステムのレベルが必要以上に高い場合、ユーザーはサブウーファーエンクロージャーの数を減らすことが出来ます。もう一つの選択肢として、均一なトーンバランスと余裕のあるヘッドルームを得るため、サブウーファーシステムのインプットレベルを下げることも可能です。

逆に、サブウーファーシステムのレベルが十分でない場合、ユーザーはサブウーファーエンクロージャーの数を増やす必要があります。

## 4 LA4JP プリセットライブラリー (version 2.2)

### 4.1 プリセットの解説表

プリセットライブラリーは、LA4JP の 89 の OEM(11 から 99)の中にメモリーされ、選択された L-ACOUSTICS®スピーカーの主要なシステム構成をカバーします。表 2 は、LA4JP プリセットライブラリー・バージョン 2.2 の内容です。: 79 のプリセットがあり、それぞれ、メモリー番号、名前、チャンネル・アサインメント、そして製品の種類(ファミリー)を記載しています。

#### WST®システムのプリセット(KIVA, KILO KIVAとARCSファミリー)

[KIVA]プリセットは、スタンドアローンでの FOH アプリケーション(サブウーファーを含まない)に使用します。

[KIVA\_KILO]プリセットは、KIVA エンクロージャーと KILO エンクロージャーを使ったハイブリッド構成時使用します。

ARCS ファミリーの製品内では、LO プリセットは、スタンダードな高域の特性を特徴とし、HI プリセットは増幅された高域の特性(LO プリセットに対し、高域シェルビング EQ に 3dB の違い)を特徴とします。

#### コアキシャルシステム(XTとMTDファミリー)と[KIVA\_FI]プリセット

[xxx\_FI]”FILL”プリセットは、スピーチ拡声、クラシック音楽、至近距離でのエンクロージャーの使用に公称フラットな特性をもたらします。

[xxx\_FR]”FRONT”プリセットは、スタンドアローン FOH での用途(サブウーファーを含まない)で使用されます。

[xxx\_MO]”MONITOR”プリセットは、床や壁が近い場所に設置する場合のオペレート(フロアモニタリング、もしくは壁や天井に取り付けた場合)で、公称フラットな特性をもたらします。

#### ハイブリッド構成とサブウーファーエンクロージャー・プリセット(ARCS SB118、SB18、SB118、12XTSB118、8XTSB118、115bPSB、112bSB、108aSBファミリー)

上記のプリセットは、100Hz[xxx\_100]と 60Hz[xxx\_60]でハイパスフィルタリングされたプリセットで、SB18 サブウーファーシステムのそれぞれ 100Hz[SB18\_100]と 60Hz[SB18\_60]ローパスフィルターを含んだプリセットと併用されます。また、SB118 サブウーファーシステムとの併用時も、それぞれ 100Hz[SB118\_100]と 60Hz[SB118\_60] ローパスフィルターを含んだプリセットと併用されます。

[8XT\_SB118]と[108a\_SB118]は、それぞれ SB118、8XT、108a エンクロージャーを使用したハイブリッド構成のために、設計されています。これらのプリセットは 100Hz のクロスオーバーポイントを含んでいます。

[12XTP\_SB118]、[112b\_SB118]、そして[115bP\_SB118]は、それぞれ SB118 とパッシブ 12XT、MTD112b、もしくはパッシブ MTD115b エンクロージャーを使用したハイブリッド構成のために設計されています。これらのプリセットは、100Hz クロスオーバーポイントを含んでいます。

[ARCS\_S118\_xxx]プリセットは ARCS®と SB118 エンクロージャーを使用したハイブリッド構成のために設計されています。これらのプリセットは、60Hz のクロスオーバーポイントを含んでいます。

[SB18\_xxx\_C]プリセットは、SB18 サブウーファーを使用してカーディオイド・カバレッジ・アレーを構成する、特定のイコライゼーション・セッティングを備えています。(SB18 ユーザーマニュアル[2.3]参照)SB118 サブウーファーの場合は、[SB118\_xxx\_C]プリセットになります。

# LA4JP AND LA8JP PRESET LIBRARIES

ユーザーマニュアル

VERSION 2.2.2.3A

表 2 に記入している、4 種類のアウトプット・チャンネルは、以下のように“xx\_x”で表示されています。

- ・最初の 2 桁は、対応するアウトプット・チャンネルに接続されるトランスデューサーの種類を示しています。  
PA: パッシブ・エンクロージャー  
LF,HF :低域トランスデューサーと高域トランスデューサー  
SB: サブウーファー・エンクロージャー  
SR: カーディオイド・アプリケーション、反転型サブウーファー・エンクロージャー
- ・最後の桁は、アウトプットが、どの入力チャンネルによりドライブされるか示しています:A、B:それぞれ、インプット A または B によってドライブされるアウトプット

表 2: LA4JP ファクトリー・プリセット・ライブラリーの解説(V2.2)

N°	PRESET NAME	OUT 1	OUT 2	OUT 3	OUT 4	DESCRIPTION	FAMILY
11	KIVA	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	KIVA, full range, FOH contour	KIVA
12	KIVA_FI	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	KIVA, full range, FI contour	KIVA
13	KIVA_KILO	LF_A	PA_A	PA_A	PA_A	KIVA & KILO, full range, X-OVER=100 Hz, FOH contour	KILOKIVA
14	KIVA_KILO_60	LF_A	PA_A	PA_A	PA_A	KIVA & KILO, HPF=60 Hz, X-OVER=100 Hz, FOH contour	KILOKIVA
15	ARCS_LO	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	ARCS, full range, LO contour	ARCS
16	ARCS_LO_60	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	ARCS, HPF=60 Hz, LO contour	ARCS
17	ARCS_LO_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	ARCS, HPF=100 Hz, LO contour	ARCS
18	ARCS_HI	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	ARCS, full range, HI contour	ARCS
19	ARCS_HI_60	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	ARCS, HPF=60 Hz, HI contour	ARCS
20	ARCS_HI_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	ARCS, HPF=100 Hz, HI contour	ARCS
21	ARCS_S118_LO	SB_A	SB_A	LF_B	HF_B	ARCS & SB118, full range, X-OVER=60 Hz, LO contour	ARCSB118
22	ARCS_S118_HI	SB_A	SB_A	LF_B	HF_B	ARCS & SB118, full range, X-OVER=60 Hz, HI contour	ARCSB118
23	SB18_60	SB_A	SB_A	SB_B	SB_B	SB18, LPF=60 Hz	SB18
24	SB18_100	SB_A	SB_A	SB_B	SB_B	SB18, LPF =100 Hz	SB18
25	SB18_60_C	SR_A	SB_A	SB_A	SB_A	SB18, LPF =60 Hz, cardioid coverage pattern	SB18
26	SB18_100_C	SR_A	SB_A	SB_A	SB_A	SB18, LPF =100 Hz, cardioid coverage pattern	SB18
27	SB118_60	SB_A	SB_A	SB_B	SB_B	SB118, LPF=60 Hz	SB118
28	SB118_100	SB_A	SB_A	SB_B	SB_B	SB118, LPF =100 Hz	SB118
29	SB118_60_C	SR_A	SB_A	SB_A	SB_A	SB118, LPF =60 Hz, cardioid coverage pattern	SB118
30	SB118_100_C	SR_A	SB_A	SB_A	SB_A	SB118, LPF =100 Hz, cardioid coverage pattern	SB118
31	12XTA_FI	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	12XT active, full range, FI contour	12XTA
32	12XTA_FI_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	12XT active, HPF=100 Hz, FI contour	12XTA
33	12XTA_FR	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	12XT active, full range, FR contour	12XTA
34	12XTA_FR_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	12XT active, HPF=100 Hz, FR contour	12XTA
35	12XTA_MO	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	12XT active, full range, MO contour	12XTA
36	12XTA_MO_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	12XT active, HPF=100 Hz, MO contour	12XTA
37	12XTP_FI	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	12XT passive, full range, FI contour	12XTP
38	12XTP_FI_100	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	12XT passive, HPF=100 Hz, FI contour	12XTP
39	12XTP_FR	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	12XT passive, full range, FR contour	12XTP
40	12XTP_FR_100	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	12XT passive, HPF=100 Hz, FR contour	12XTP
41	12XTP_MO	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	12XT passive, full range, MO contour	12XTP
42	12XTP_MO_100	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	12XT passive, HPF=100 Hz, MO contour	12XTP
43	8XT_FI	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	8XT, full range, FI contour	8XT
44	8XT_FI_100	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	8XT, HPF=100 Hz, FI contour	8XT
45	8XT_FR	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	8XT, full range, FR contour	8XT
46	8XT_FR_100	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	8XT, HPF=100 Hz, FR contour	8XT
47	8XT_MO	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	8XT, full range, MO contour	8XT
48	8XT_MO_100	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	8XT, HPF=100 Hz, MO contour	8XT

49	12XTP_SB118	SB_A	PA_A	SB_B	PA_B	12XT passive & SB118, X-OVER=100 Hz, FR contour	12XTS118
50	8XT_SB118	SB_A	PA_A	SB_B	PA_B	8XT & SB118, X-OVER=100 Hz, FR contour	8XTSB118
51	115XT_FI	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	115XT, full range, FI contour	115XT
52	115XT_FI_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	115XT, HPF=100 Hz, FI contour	115XT
53	115XT_FR	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	115XT, full range, FR contour	115XT
54	115XT_FR_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	115XT, HPF=100 Hz, FR contour	115XT
55	115XT_MO	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	115XT, full range, MO contour	115XT
56	115XT_MO_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	115XT, HPF=100 Hz, MO contour	115XT
57	115bA_FI	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	MTD115b active, full range, FI contour	MTD115bA
58	115bA_FI_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	MTD115b active, HPF=100 Hz, FI contour	MTD115bA
59	115bA_FR	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	MTD115b active, full range, FR contour	MTD115bA
60	115bA_FR_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	MTD115b active, HPF=100 Hz, FR contour	MTD115bA
61	115bA_MO	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	MTD115b active, full range, MO contour	MTD115bA
62	115bA_MO_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	MTD115b active, HPF=100 Hz, MO contour	MTD115bA
63	115bP_FI	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD115b passive, full range, FI contour	MTD115bP
64	115bP_FI_100	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD115b passive, HPF=100 Hz, FI contour	MTD115bP
65	115bP_FR	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD115b passive, full range, FR contour	MTD115bP
66	115bP_FR_100	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD115b passive, HPF=100 Hz, FR contour	MTD115bP
67	115bP_MO	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD115b passive, full range, MO contour	MTD115bP
68	115bP_MO_100	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD115b passive, HPF=100 Hz, MO contour	MTD115bP
69	112XT_FI	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	112XT, full range, FI contour	112XT
70	112XT_FI_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	112XT, HPF=100 Hz, FI contour	112XT
71	112XT_FR	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	112XT, full range, FR contour	112XT
72	112XT_FR_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	112XT, HPF=100 Hz, FR contour	112XT
73	112XT_MO	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	112XT, full range, MO contour	112XT
74	112XT_MO_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	112XT, HPF=100 Hz, MO contour	112XT
75	112b_FI	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD112b passive, full range, FI contour	MTD112b
76	112b_FI_100	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD112b passive, HPF=100 Hz, FI contour	MTD112b
77	112b_FR	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD112b passive, full range, FR contour	MTD112b
78	112b_FR_100	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD112b passive, HPF=100 Hz, FR contour	MTD112b
79	112b_MO	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD112b passive, full range, MO contour	MTD112b
80	112b_MO_100	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD112b passive, HPF=100 Hz, MO contour	MTD112b
81	108a_FI	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD108a passive, full range, FI contour	MTD108a
82	108a_FI_100	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD108a passive, HPF=100 Hz, FI contour	MTD108a
83	108a_FR	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD108a passive, full range, FR contour	MTD108a
84	108a_FR_100	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD108a passive, HPF=100 Hz, FR contour	MTD108a
85	108a_MO	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD108a passive, full range, MO contour	MTD108a
86	108a_MO_100	PA_A	PA_A	PA_B	PA_B	MTD108a passive, HPF=100 Hz, MO contour	MTD108a
87	115bP_SB118	SB_A	PA_A	SB_B	PA_B	MTD115b pass. & SB118, X-OVER=100 Hz, FR contour	115bPSB
88	112b_SB118	SB_A	PA_A	SB_B	PA_B	MTD112b & SB118, X-OVER=100 Hz, FR contour	112bSB
89	108a_SB118	SB_A	PA_A	SB_B	PA_B	MTD108a & SB118, X-OVER=100 Hz, FR contour	108aSB


# LA4JP AND LA8JP PRESET LIBRARIES

ユーザーマニュアル

VERSION 2.2.2.3A

## 4.2 メインシステムと、サブワフーシステムを併用する場合のディレイ値

表 3 は、メインシステムとサブワフーシステムに接続する時に適用するディレイの値を示しています。



それぞれのディレイの値は、対応するシステムに関連する全てのエンクロージャーに適用されなくてはなりません。ディレイの値は、エンクロージャーが同一平面上に配置された場合の値です。同一平面上に配置されていない場合は、表 3 の値を合せ直す必要があります。

表 3: システムの組み合わせと関連するディレイ

System combinations	Associated delays for each system	
KIVA_KILO_60] + [SB118_60]	KIVA/KILO = 0 ms	SB118 = 5.9 ms
[KIVA_KILO_60] + [SB118_60_C]	KIVA/KILO = 0 ms	SB118 = 0.4 ms
KIVA_KILO_60] + [SB18_60]	KIVA/KILO = 0 ms	SB18 = 6.3 ms
[KIVA_KILO_60] + [SB18_60_C]	KIVA/KILO = 0 ms	SB18 = 0.8 ms
[ARCS_LO/HI_60] + [SB118_60]	A RCS = 0.8 ms	S B118 = 0 ms
[ARCS_LO/HI_100] + [SB118_100]	ARCS = 1.4 ms	SB118 = 0 ms
[ARCS_LO/HI_60] + [SB18_60]	ARCS = 0.4 ms	SB18 = 0 ms
[ARCS_LO/HI_100] + [SB18_100]	ARCS = 1.1 ms	SB18 = 0 ms
[ARCS_LO/HI_60] + [SB118_60_C]	ARCS = 6.3 ms	SB118 = 0 ms
[ARCS_LO/HI_100] + [SB118_100_C]	ARCS = 6.9 ms	SB118 = 0 ms
[ARCS_LO/HI_60] + [SB18_60_C]	ARCS = 5.9 ms	SB18 = 0 ms
[ARCS_LO/HI_100] + [SB18_100_C]	ARCS = 6.6 ms	SB18 = 0 ms
[12XTA_FL_100] + [SB118_100]	12XTA = 2.6 ms	SB118 = 0 ms
[12XTA_FR_100] + [SB118_100]	12XTA = 2.6 ms	SB118 = 0 ms
[12XTA_MO_100] + [SB118_100]	12XTA = 2.5 ms	SB118 = 0 ms
[12XTA_FL_100] + [SB18_100]	12XTA = 2.3 ms	SB18 = 0 ms
[12XTA_FR_100] + [SB18_100]	12XTA = 2.3 ms	SB18 = 0 ms
[12XTA_MO_100] + [SB18_100]	12XTA = 2.2 ms	SB18 = 0 ms
[12XTP_FL_100] + [SB118_100]	12XTP = 2.4 ms	SB118 = 0 ms
[12XTP_FR_100] + [SB118_100]	12XTP = 2.4 ms	SB118 = 0 ms
[12XTP_MO_100] + [SB118_100]	12XTP = 2.4 ms	SB118 = 0 ms
[12XTP_FL_100] + [SB18_100]	12XTP = 2.1 ms	SB18 = 0 ms
[12XTP_FR_100] + [SB18_100]	12XTP = 2.1 ms	SB18 = 0 ms
[12XTP_MO_100] + [SB18_100]	12XTP = 2.1 ms	SB18 = 0 ms
[8XT_FL_100] + [SB118_100]	8XT = 3.1 ms	SB118 = 0 ms
[8XT_FR_100] + [SB118_100]	8XT = 3.2 ms	SB118 = 0 ms
8XT_MO_100] + [SB118_100]	8XT = 3.0 ms	SB118 = 0 ms
[8XT_FL_100] + [SB18_100]	8XT = 2.8 ms	SB18 = 0 ms
[8XT_FR_100] + [SB18_100]	8XT = 2.9 ms	SB18 = 0 ms
8XT_MO_100] + [SB18_100]	8XT = 2.7 ms	SB18 = 0 ms
[115XT_FL_100] + [SB118_100]	115XT = 2.6 ms	SB118 = 0 ms
[115XT_FR_100] + [SB118_100]	115XT = 2.5 ms	SB118 = 0 ms
[115XT_MO_100] + [SB118_100]	115XT = 2.9 ms	SB118 = 0 ms
[115XT_FL_100] + [SB18_100]	115XT = 2.3 ms	SB18 = 0 ms
[115XT_FR_100] + [SB18_100]	115XT = 2.2 ms	SB18 = 0 ms
[115XT_MO_100] + [SB18_100]	115XT = 2.6 ms	SB18 = 0 ms
[115bA_FL_100] + [SB118_100]	115bA = 2.4 ms	SB118 = 0 ms
[115bA_FR_100] + [SB118_100]	115bA = 2.5 ms	SB118 = 0 ms
[115bA_MO_100] + [SB118_100]	115bA = 2.7 ms	SB118 = 0 ms
[115bA_FL_100] + [SB18_100]	115bA = 2.1 ms	SB18 = 0 ms
[115bA_FR_100] + [SB18_100]	115bA = 2.2 ms	SB18 = 0 ms
[115bA_MO_100] + [SB18_100]	115bA = 2.4 ms	SB18 = 0 ms

[115bP_FI_100] + [SB118_100]	115bP = 2.1 ms	SB118 = 0 ms
[115bP_FR_100] + [SB118_100]	115bP = 2.2 ms	SB118 = 0 ms
[115bP_MO_100] + [SB118_100]	115bP = 2.8 ms	SB118 = 0 ms
[115bP_FI_100] + [SB18_100]	115bP = 1.8 ms	SB18 = 0 ms
[115bP_FR_100] + [SB18_100]	115bP = 1.9 ms	SB18 = 0 ms
[115bP_MO_100] + [SB18_100]	115bP = 2.5 ms	SB18 = 0 ms
[112XT_FI_100] + [SB118_100]	112XT = 2.3 ms	SB118 = 0 ms
[112XT_FR_100] + [SB118_100]	112XT = 2.3 ms	SB118 = 0 ms
[112XT_MO_100] + [SB118_100]	112XT = 2.6 ms	SB118 = 0 ms
[112XT_FI_100] + [SB18_100]	112XT = 2 ms	SB18 = 0 ms
[112XT_FR_100] + [SB18_100]	112XT = 2 ms	SB18 = 0 ms
[112XT_MO_100] + [SB18_100]	112XT = 2.3 ms	SB18 = 0 ms
[112b_FI_100] + [SB118_100]	112b = 2.4 ms	SB118 = 0 ms
[112b_FR_100] + [SB118_100]	112b = 2.5 ms	SB118 = 0 ms
[112b_MO_100] + [SB118_100]	112b = 3.0 ms	SB118 = 0 ms
[112b_FI_100] + [SB18_100]	112b = 2.1 ms	SB18 = 0 ms
[112b_FR_100] + [SB18_100]	112b = 2.2 ms	SB18 = 0 ms
[112b_MO_100] + [SB18_100]	112b = 2.7 ms	SB18 = 0 ms
[108a_FI_100] + [SB118_100]	108a = 3.5 ms	SB118 = 0 ms
[108a_FR_100] + [SB118_100]	108a = 3.6 ms	SB118 = 0 ms
[108a_MO_100] + [SB118_100]	108a = 4.0 ms	SB118 = 0 ms
[108a_FI_100] + [SB18_100]	108a = 3.2 ms	SB18 = 0 ms
[108a_FR_100] + [SB18_100]	108a = 3.3 ms	SB18 = 0 ms
[108a_MO_100] + [SB18_100]	108a = 3.7 ms	SB18 = 0 ms

# LA4JP AND LA8JP PRESET LIBRARIES

ユーザーマニュアル

VERSION 2.2.2.3A

ディレイは、下記の例で示されている通り、LA NETWORK MANGER ソフトウェアから設定することができます。ARCS®と SB118 のスリーウェイ・システムは、[ARCS\_HI\_60]と[SB118\_60]プリセットを使用して作られます。表 3 は ARCS®に適用するディレイ値である 0.8ms を示しています。従って、LA NETWORK MANGER インターフェースは下記の通りに構成されなければなりません:

	MUTE	GAIN	GAIN	DELAY	DELAY	POL.	CONTR.
		Abs	(dB)	Abs.	(ms)		
FOH			0.00		0.00		
ARCS_HI_60 (1)							
IN_A			0.00		0.80	+	
IN_B			0.00		0.80	+	
LF_A		1.00		1.90		A	
HF_A		-7.00		0.80		A	
LF_B		1.00		1.90		B	
HF_B		-7.00		0.80		B	
SB118_60 (2)							
IN_A			0.00		0.00	+	
IN_B			0.00		0.00	+	
SB_A		9.00	9.00	0.00	0.00	+	A
SB_B		9.00	9.00	0.00	0.00	+	A
SB_C		9.00	9.00	0.00	0.00	+	B
SB_D		9.00	9.00	0.00	0.00	+	B

図 1: LA NETWORK MANGER ユーザーインターフェース



いくつかの”ハイブリッド”ファクトリー・プリセットは、複数のプリセットを結合し、1つのプリセットにすることができます。”ハイブリッド”プリセットを使用する場合、ディレイは既に設定されており、修正の必要はありません。

例: [8XT\_SB118]ハイブリッド・プリセットが、[8XT\_FR\_100] + [SB118\_100]の組み合わせに代わって使用される場合、8XT に対して 3.2ms のディレイ値が既に設定されていることとなります。

注: ディレイは、アンプリファイド・コントローラーのフロントパネルからも設定することができます(LA4JP のユーザーマニュアル [2.3]をご参照ください)。

## 4.3 KIVA WST® システム

### 4.3.1 “フルレンジ”モード: [KIVA], [KIVA\_F]プリセット

[KIVA]プリセットは、80-20kHz 周波数レンジでの中距離と長距離アプリケーション向けに作られた、専用のシステム特性を備えています。

[KIVA]プリセット内のアクセス可能なパラメーターは以下の表の通りです。

表 4: [KIVA] プリセットでアクセス可能なパラメーター

LA4JP Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input Signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	KIVA Enclosure	PA_A	O	O	X	X
OUT 2	KIVA Enclosure	PA_A	O	O	X	X
OUT 3	KIVA Enclosure	PA_A	O	O	X	X
OUT 4	KIVA Enclosure	PA_A	O	O	X	X

\* IN: input signal. A, B: channel A, B. PA: passive enclosure

[KIVA\_F]プリセットは、中距離分散アプリケーション向けに作られた 80Hz までの公称フラットなシステム特性を備えています。このプリセットは、各内角を 0° から 15° まで調節可能で、1台、もしくは、1組のエンクロージャーに適用されます。

[KIVA\_F]プリセット内のアクセス可能なパラメーターは以下の表の通りです。

表 5: [KIVA\_F] プリセットでアクセス可能なパラメーター

LA4JP Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input Signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	KIVA Enclosure	PA_A	O	O	O	O
OUT 2	KIVA Enclosure	PA_A	O	O	O	O
OUT 3	KIVA Enclosure	PA_B	O	O	O	O
OUT 4	KIVA Enclosure	PA_B	O	O	O	O

\* IN: input signal. A, B: channel A, B. PA: passive enclosure

### 4.3.2 “ロー・エクステンション”モード:[KIVA\_KILO], [KIVA\_KILO\_60]プリセット

[KIVA\_KILO]プリセットは 50Hz までのバンド幅を持つ中距離アプリケーション向けに作られた、専用のシステム特性を備えています。LF セクションと MF セクション間のクロスオーバー周波数は 100Hz に設定されています。推奨する割合は KIVAx3 台に対し、KILOx1 台です。

[KIVA\_KILO\_60]プリセットは、60Hz でのハイパスフィルターを持つ中距離アプリケーション向けに作られた、専用のシステム特性を備えています。このプリセットは、SB18 サブウーファー・システムと KIVA/KILO アッセンブリとの併用での使用が意図されています。推奨する割合は、SB18x1 台につき、KIVAx3 台と KILOx 1 台のアッセンブリです。このシステムのバンド幅は 32kHz まで下げられています。SB118 の場合も同じです。

# LA4JP AND LA8JP PRESET LIBRARIES

ユーザーマニュアル

VERSION 2.2.2.3A

“ロー・エクステンション”モードのアクセス可能なパラメーターは以下の表の通りです。

表 6: “ロー・エクステンション”モードでアクセス可能なパラメーター

LA4JP Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input Signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	KILO Enclosure	LF_A	O	O	X	X
OUT 2	KIVA Enclosure	PA_A	O	O	X	X
OUT 3	KIVA Enclosure	PA_A	O	O	X	X
OUT 4	KIVA Enclosure	PA_A	O	O	X	X

\* IN: input signal. A, B: channel A, B. PA: passive enclosure. LF: low frequency transducer.

注: もしも、サブウーファーエンクロージャーが上記のプリセットと合わせて使用されている場合、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルのインストラクションを参照してください。

## 4.4 ARCS® WST® システム

### 4.4.1 “フルレンジ”モード: [ARCS\_LO]、[ARCS\_HI] プリセット

[ARCS\_LO]と[ARCS\_HI]プリセットは、中距離アプリケーション向けに作られた、専用のシステム特性を備えています。バンド幅のLFのリミットは50Hzです。

[ARCS\_LO]プリセットは、スタンダードな高域特性を備えています。

[ARCS\_HI]プリセットは、増幅された高域特性を備えています ([ARCS\_LO]プリセットに対し、高域シェルビング EQ に 3dB の違い)

“フル・レンジ”モードのアクセス可能なパラメーターは以下の表の通りです。

表 7: “フル・レンジ”モードでアクセス可能なパラメーター

LA4JP Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input Signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	ARCS® Enclosure	LF_A	O	X	X	X
OUT 2		HF_A	O	X	X	X
OUT 3	ARCS® Enclosure	LF_B	O	X	X	X
OUT 4		HF_B	O	X	X	X

\* IN: input signal. A, B: channel A, B. LF: low frequency transducer. HF: high frequency transducer.

#### 4.4.2 “ハイ・パス”モード:[ARCS\_xx\_60]、[ARCS\_xx\_100]プリセット

[ARCS\_xx\_60]と[ARCS\_xx\_100]プリセットは、中距離アプリケーション向けに作られた、専用のシステム特性を備え、それぞれ 60Hz、もしくは 100Hz のハイパスフィルターを含んでいます。これらのプリセットは、SB18、SB28 サブウーファーシステムと併用して ARCS®システムを使用することを意図して作られています。推奨する割合は、SB18x1 台につき ARCS®x1 台、SB28x1 台につき ARCS®x2 台、SB118 と SB218 の場合も同じです。

注:これらのプリセットによるドライビングで、例として、センター・クラスターとして配置する場合、狭い低域バンド幅で ARCS®を使用することも可能です。

[ARCS\_xx\_60]プリセットは、SB18、SB28 との併用、もしくはスタンドアローンでの使用を意図して作られており、サブウーファーと組み合わせる場合、[SB18\_60]、[SB28\_60]プリセットとの組み合わせでドライビングされます。SB118 と SB218 の場合も同じです。

[ARCS\_xx\_100]プリセットは、SB18、SB28 サブウーファーとの併用、もしくはスタンドアローンでの使用を意図して作られており、サブウーファーと組み合わせる場合、[SB18\_100]、[SB28\_100]プリセットとの組み合わせでドライビングされます。SB118 と SB218 の場合も同じです。

“ハイ・パス”モードでアクセス可能なパラメーターは以下の表の通りです。

表 8:“ハイ・パス”モードでアクセス可能なパラメーター

LA4JP Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input Signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	ARCS® Enclosure	LF_A	O	X	X	X
OUT 2		HF_A	O	X	X	X
OUT 3	ARCS® Enclosure	LF_B	O	X	X	X
OUT 4		HF_B	O	X	X	X

\* IN: input signal. A, B: channel A, B. LF: low frequency transducer. HF: high frequency transducer.

注: もしも、サブウーファーエンクロージャーが上記のプリセットと合わせて使用されている場合、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルのインストラクションを参照してください。

#### 4.4.3 “ハイブリッド”モード:[ARCS\_S118\_LO]、[ARCS\_S118\_HI]プリセット

“ハイブリッド”モードでは、SB118 エンクロージャーは ARCS®エンクロージャーと組み合わせられます。システムの周波数バンド幅 32Hz まで下げることができ、SB118 と ARCS®のローセクションのクロスオーバー周波数は 60Hz です。推奨する割合は、SB118x1 台と ARCS®x1 台です。

[ARCS\_S118\_LO]プリセットは、スタンダードな高域の特性を特徴とします。

[ARCS\_S118\_HI]プリセットは、増幅された高域特性を特徴とします (LO プリセットに対し、高域シュルピング EQ に 3dB の違い)。



[ARCS\_S118\_LO]プリセットは、[ARCS\_LO\_60]と[SB118\_60]プリセットとの組み合わせです。  
[ARCS\_S118\_HI]プリセットは、[ARCS\_HI\_60]と[SB118\_60]プリセットとの組み合わせです。

# LA4JP AND LA8JP PRESET LIBRARIES

ユーザーマニュアル

VERSION 2.2.2.3A

“ハイブリッド”モードのアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。


表9: “ハイブリッド”モードでアクセス可能なパラメーター

LA4JP Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input Signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	SB118 enclosure	SB A	O	X	X	X
OUT 2	SB118 enclosure	SB A	O	X	X	X
OUT 3	ARCS® Enclosure	LF_B	O	X	X	X
OUT 4		HF_B	O	X	X	X

\* IN: input signal. A, B: channel A, B. SB: subwoofer enclosure. LF: low frequency transducer. HF: high frequency transducer.

## 4.5 パッシブ・コアキシャルエンクロージャー

パッシブ・コアキシャルエンクロージャーは、8XT、パッシブ 12XT (12XTP)、MTD108a、MTD112b、そしてパッシブ MTD115b (MTD115bP) です。



8XT と 12XT のモニタープリセットは、LA4JP プリセットライブラリーのバージョン 2.0 から最適化されています。

### 4.5.1 “フルレンジ”モード:[xxx\_FR]、[xxx\_FI]、[xxx\_MO]プリセット

“フルレンジ”モードでは、パッシブエンクロージャーは、低域拡張を必要としないアプリケーションのため、公称バンド幅でのスタンドアロン構成で使用されます。

- [xxx\_FI]”FILL”プリセットは、スピーチ、クラシック音楽、近距離でのエンクロージャー使用に公称フラットな特性をもたらします。
- [xxx\_FR]”FRONT”プリセットは、スタンドアロン FOH アプリケーションに用います (サブウーファー不使用)。
- [xxx\_MO]”MONITOR”プリセットは、ハーフスペースローディングのオペレート (フロアモニタリング、もしくは壁や天井に取り付けた場合) で、公称フラットな特性を生み出します。

パッシブエンクロージャー用の“ハイパス”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 10: パッシブエンクロージャー用の“ハイパス”モードでアクセス可能なパラメーター

LA4JP Inputs/ Outputs	Elements to connect	Preset assignments*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	Passive enclosure	PA_A	O	O	O	O
OUT 2	Passive enclosure	PA_A	O	O	O	O
OUT 3	Passive enclosure	PA_B	O	O	O	O
OUT 4	Passive enclosure	PA_B	O	O	O	O

\* IN: input signal. A, B: channel A, B. PA: passive enclosure.

#### 4.5.2 “ハイパス”モード: [xxx\_FR\_100], [xxx\_FL\_100], [xxx\_MO\_100]プリセット

“ハイパス”モードでは、パッシブエンクロージャーは、サブウーファーの SB18 や SB118 との併用のために 100Hz のハイパスフィルターを備えています。このシステムのバンド幅は 32Hz まで下げることができます。

推奨するサブウーファー1 台との組み合わせの割合は、パッシブ 12XTx1 台、パッシブの MTD115bx1 台、MTD112bx1 台、8XTx2 台、または MTD108ax2 台です。

- [xxx\_FL\_100] “FILL”プリセットは、100Hz まで公称フラットな特性をもたらします。
- [xxx\_FR\_100] “FRONT”プリセットは、サブウーファーを伴ったスタンドアローンでの FOH アプリケーションに用います。
- [xxx\_MO\_100] “MONITOR”プリセットは、ハーフスペースローディングのオペレート(フロアモニタリング、もしくは壁や天井に取り付けた場合)で、100Hz まで公称フラットな特性を生み出します。

パッシブエンクロージャー用の“ハイパス”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 11: パッシブ・エンクロージャー用の“ハイパス”モードでアクセス可能なパラメーター

LA4JP Inputs/ Outputs	Elements to connect	Preset assignments*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	Passive enclosure	PA_A	O	O	O	O
OUT 2	Passive enclosure	PA_A	O	O	O	O
OUT 3	Passive enclosure	PA_B	O	O	O	O
OUT 4	Passive enclosure	PA_B	O	O	O	O

\* IN: input signal. A, B: channel A, B. PA: passive enclosure.

注: もしも、サブウーファーエンクロージャーが上記のプリセットと合わせて使用されている場合、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルのインストラクションを参照してください。

#### 4.5.3 “ハイブリッド”モード: [xxx\_SB118]プリセット

“ハイブリッド”モードでは、パッシブエンクロージャーは、SB118 エンクロージャーと併用されます。SB118 との組み合わせの推奨される割合は、パッシブの 12XTx1 台、パッシブの MTD115bx1 台、MTD112bx1 台、8XTx2 台、または MTD108ax2 台です。

[xxx\_SB118]プリセットは、スタンドアローンでの FOH アプリケーションに用います。このシステムの周波数バンド幅は 32Hz まで下げられ、LF/HF セクション間のクロスオーバー周波数は 100Hz です。

“ハイブリッド”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。


表 12: “ハイブリッド”モードでアクセス可能なパラメーター

LA4JP Inputs/ Outputs	Elements to connect	Preset assignments*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	SB118 enclosure	SB_A	O	O	O	O
OUT 2	Passive enclosure	PA_A	O	O	O	X
OUT 3	SB118 enclosure	SB_B	O	O	O	O
OUT 4	Passive enclosure	PA_B	O	O	O	X

\* IN: input signal. A, B: channel A, B. PA: passive enclosure. SB: subwoofer enclosure.

#### 4.6 アクティブ・コアキシャルエンクロージャー

LA4JP に接続するアクティブ・コアキシャルエンクロージャーは、アクティブの 12XT (12XTA)と、アクティブの MTD115b (MTD115bA)です。



12XT のモニタープリセットは、LA4JP プリセットライブラリーのバージョン 2.0 から最適化されています。

##### 4.6.1 “フルレンジ”モード: [xxx\_FR], [xxx\_FL], [xxx\_MO]プリセット

“フルレンジ”モードでの、アクティブエンクロージャーは、低域拡張を必要としないアプリケーションのため、公称バンド幅でのスタンドアローン構成で使用されます。

- [xxx\_FL] “FILL”プリセットは、スピーチ拡声、クラシック音楽、近距離でのエンクロージャー使用に公称フラットな特性をもたらします。
- [xxx\_FR] “FRONT”プリセットは、スタンドアローンでの FOH アプリケーションに用います(サブウーファー不使用)。
- [xxx\_MO] “MONITOR”プリセットは、ハーフスペースローディングのオペレート(フロアモニタリング、もしくは壁や天井に取り付けた場合)で、公称フラットな特性を生み出します。

アクティブエンクロージャー用の“フルレンジ”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 13: アクティブエンクロージャー用の“フルレンジ”モードでアクセス可能なパラメーター

LA4JP Inputs/ Outputs	Elements to connect	Preset assignments*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	Active enclosure	LF_A	O	X**	X	X
OUT 2		HF_A	O	X	X	X
OUT 3	Active enclosure	LF_B	O	X**	X	X
OUT 4		HF_B	O	X	X	X

\* IN: input signal. A, B: channel A, B. LF: low frequency transducer. HF: high frequency transducer

\*\*[12XTA\_MO]に関して、LFゲインの変更は可能.

##### 4.6.2 “ハイパス”モード: [xxx\_FR\_100], [xxx\_FL\_100], [xxx\_MO\_100]プリセット

“ハイパス”モードは、アクティブエンクロージャーをサブウーファーの SB18 や SB118 と併用するために、100Hz のハイパスフィルターを備えています。このシステムのバンド幅は 32Hz まで下げることができます。推奨するサブウーファーとの組み合わせの割合は、アクティブの 12XTx1 台、またはアクティブの MTD115b です。

- [xxx\_FL\_100] “FILL”プリセットは、100Hz まで公称フラットな特性を生み出します。
- [xxx\_FR\_100] “FRONT”プリセットは、スタンドアローンでの FOH アプリケーション用です。
- [xxx\_MO\_100] “MONITOR”プリセットは、ハーフスペースローディングのオペレート(フロアモニタリング、もしくは壁や天井に取り付けた場合)で、100Hz まで公称フラットな特性を生み出します。

アクティブエンクロージャー用の“ハイパス”モードのアクセス可能なパラメーターは以下の表の通りです。

表 14: アクティブエンクロージャー用の“ハイパス”モードでアクセス可能なパラメーター

LA4JP Inputs/ Outputs	Elements to connect	Preset assignments*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	Active enclosure	LF_A	O	X**	X	X
OUT 2		HF_A	O	X	X	X
OUT 3	Active enclosure	LF_B	O	X**	X	X
OUT 4		HF_B	O	X	X	X

\* IN: input signal. A, B: channel A, B. LF: low frequency transducer. HF: high frequency transducer.

\*\*[12XTA\_MO\_100]に関して、LFゲインの変更は可能。

注: もしも、サブウーファーエンクロージャーが上記のプリセットと合わせて使用されている場合、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルのインストラクションを参照してください。

## 4.7 サブウーファーエンクロージャー

SB18 エンクロージャーは、使用システムの低周波数を 32Hz まで下げるために使用されます。このセクションに記載されている内容は、SB118 にもあてはまります。

### 4.7.1 “スタンダード”モード: [SB18\_60]、[SB18\_100] と [SB118\_60]、[SB118\_100]プリセット

“スタンダード”モードは、全方向のカバーパターンを得るため、全 SB18 エンクロージャーのフロントをオーディエンス側に向けてアレーすることで構成されます。

例として、図 2 は、スタンダードなヴァーチカル・アレーを示しています。サブウーファーのアレー構成に関しては、**SB18 のユーザーマニュアル** [2.3]をよく読み、理解されるようにしてください。

関連するスタンダードなプリセットは、LA4JP と LA8JP のライブラリーから入手できます。

注: このモードで、SB18 エンクロージャーは、ステレオ、もしくは、分散のコンフィギュレーションでも使用することができます。

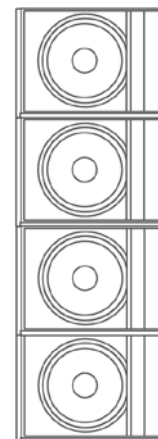


図 2: スタンダードな SB18 ヴァーチカル・アレー

[SB18\_60]プリセットは、KUDO®、KARA®、ARCS®、KIVA/KILO システムと組み合わせのサブウーファーとして SB18 を使用可能とする 60Hz ローパスフィルターを備えています。

[SB118\_60]プリセットは、KUDO®、dV-DOSC/dV-SUB、ARCS®、KIVA/KILO システムと組み合わせのサブウーファーとして SB118 を使用可能とする 60Hz ローパスフィルターを備えています。

[SB18\_100]プリセットは、KARA®、ARCS®、XT システムを近い位置で組み合わせた場合のサブウーファーとして SB18 を使用可能にする 100Hz ローパスフィルターを備えています。

[SB118\_100]プリセットは、dV-DOSC、ARCS®、XT、MTD システムを近い位置で組み合わせた場合のサブウーファーとして SB118 を使用可能にする 100Hz ローパスフィルターを備えています。

“スタンダード”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 15: “スタンダード”モードでアクセス可能なパラメーター

LA4JP Inputs/ Outputs	Elements to connect	Preset assignments*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	Subwoofer enclosure	SB_A	O	O	O	O
OUT 2	Subwoofer enclosure	SB_A	O	O	O	O
OUT 3	Subwoofer enclosure	SB_B	O	O	O	O
OUT 4	Subwoofer enclosure	SB_B	O	O	O	O

\* IN: input signal. A, B: channel A, B. SB: subwoofer enclosure.

注: メインシステムのエンクロージャーは、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルを参照してください。

#### 4.7.2 “カーディオイド”モード: [SB18\_60\_C], [SB18\_100\_C] と [SB118\_60\_C], [SB118\_100\_C] プリセット

“カーディオイド”モードは、リア側に最大の減衰をもたらし、カーディオイド・カバレッジ・パターンを得るため、下部のエンクロージャーをフロントからリアへ反転させて構成します。

例として、図 3 は、カーディオイドのラインアップ・アレーを示しています。サブウーファーのアレー構成に関しては、“SB18 のユーザーマニュアル[2.3]”をよく読み、理解されるようにしてください。

関連するスタンダードなプリセットは、LA4JP と LA8JP のライブラリーから入手できます。

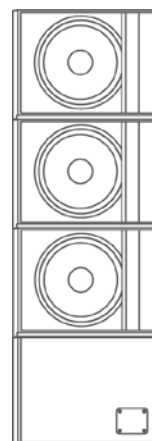


図 3: カーディオイドの SB118 ヴァーチカル・アレー

[SB18\_60\_C]プリセットは、KUDO®、KARA®、ARCS®、KIVA/KILO システムと組み合わせのサブウーファーとして SB18 を使用可能とする 60Hz ローパスフィルターを備えています。

[SB118\_60\_C]プリセットは、KUDO®、dV-DOSC/dV-SUB、ARCS®、KIVA/KILO システムと組み合わせのサブウーファーとして SB118 を使用可能とする 60Hz ローパスフィルターを備えています。

[SB18\_100\_C]プリセットは、KARA®、ARCS®、XT システムを近い位置で組み合わせた場合のサブウーファーとして SB18 を使用可能にする 100Hz ローパスフィルターを備えています。

[SB118\_100\_C]プリセットは、dV-DOSC、ARCS®、XT、MTD システムを近い位置で組み合わせた場合のサブウーファーとして SB118 を使用可能にする 100Hz ローパスフィルターを備えています。

“カーディオイド”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 16: “カーディオイド”モードでアクセス可能なパラメーター

LA4JP Inputs/ Outputs	Elements to connect	Preset assignments*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	Reversed subwoofer enclosure	SR_A	O	X	X	X
OUT 2	Subwoofer enclosure	SB_A	O	X	X	X
OUT 3	Subwoofer enclosure	SB_A	O	X	X	X
OUT 4	Subwoofer enclosure	SB_A	O	X	X	X

\* IN: input signal. A, B: channel A, B. SB: subwoofer enclosure. SR: reversed subwoofer enclosure.

注: メインシステムのエンクロージャーは、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルを参照してください。

## 5 LA8JPプリセットライブラリー (version 2.3)

### 5.1 プリセットの解説表

プリセットライブラリーは、LA8JP の 89 の OEM(11 から 99)の中にメモリーされ、選択された L-ACOUSTICS®スピーカーの主要なシステム構成をカバーします。表 17 は、LA8JP プリセットライブラリー・バージョン 2.3 の内容です。: 62 のプリセットがあり、それぞれ、メモリー番号、名前、チャンネル・アサインメント、そして製品の種類(ファミリー)を記載しています。

#### 115XT HiQ コアキシャル・システムと[dV\_F]プリセット

[xxx\_F]”FILL”プリセットは、スピーチ、クラシック音楽、近距離でのエンクロージャー使用に公称フラットな特性をもたらします。

[xxx\_FR] “FRONT”プリセットは、スタンドアローンでの FOH アプリケーションに用います(サブウーファー不使用)。

[xxx\_MO] “MONITOR”プリセットは、ハーフスペースローディングのオペレート(フロアモニタリング、もしくは壁や天井に取り付けた場合)で、公称フラットな特性を生み出します。

#### WST®システムプリセット (K1, K1-SB, V-DOSC, KUDO, KARA, dV-DOSCとdV-D\_dVS, ARCS IIとARCS ファミリー)

[K1SB\_X] / [K1SB\_60]プリセットは、[K1]プリセットを伴った”スロー” / “コンター”カバレッジパターンを構築するために使用されず(K1 または K1-SB のユーザーマニュアルをご参照ください)。

V-DOSC、dV-DOSC、dV-D\_dVS、そして ARCS ファミリーでは、LO プリセットは、スタンダードな高域の特性を特徴とし、HI プリセットは増幅された高域特性(LO プリセットに対し、高域シェルビング EQ に 3dB の違い)を特徴とします。

[KUDO50]、[KUDO80]、[KUDO110]プリセットは、K-LOUVER®の指向性セッティング(各 50°、80° または 110°)において、KUDO®システムの周波数特性を最適化するため、個別にコンポーネント・イコライゼーションを備えています(KUDO のユーザーマニュアル[2.3]参照)。

[xxx\_60] / [xxx\_100]プリセットは、メインシステムと、60Hz と 100Hz でローパスフィルタリングされたサブウーファーシステムとの併用を可能にする 60Hz と 100Hz のハイパスフィルターを含んでいます。

KARAファミリープリセットは、スタンドアローンのアレー、サブウーファーとの併用、そしてK1のダウンフィル用のシステムとして使用されます。

[ARCS II] プリセットは、スタンドアローンとラインソースまたは、SB28サブウーファーと併用する場合に使用されます。

[V-DOSC\_xxx\_X]プリセットは、V-DOSC®システムと、200Hzでローパスフィルタリングされたサブウーファーシステムの併用を可能にするフルレンジ・イコライゼーションをもたらします。これらのプリセットは低周波数域でV-DOSC®システムとサブウーファーシステムのバンド幅を均一にクロスさせます。

[dV\_dV\_S\_xxx]プリセットは、dV-DOSC®エンクロージャーと dV-SUB エンクロージャーを使用するハイブリッドコンフィギュレーションのために設計されています。dV-SUB と dV-DOSC のローセクション間のクロスオーバー周波数は 100Hz です。

#### サブウーファーシステムのプリセット (dV-SUB、SB18、SB118、SB28 とSB218 ファミリー)

[xxx\_60]/[xxx\_100]プリセットは、60Hz、または 100Hz でフィルタリングされたメインシステムと、サブウーファーシステムとの併用を可能にする 60Hz と 100Hz のローパスフィルターを含んでいます。

[xxx\_X]プリセットは、[V-DOSC\_xxx\_X]プリセットでドライブされるフルレンジの V-DOSC®システムとサブウーファーシステムの併用を可能にする 200Hz のローパスフィルターを含んでいます。これらのプリセットは低周波数域で V-DOSC®システムとサブウーファーシステムのバンド幅を均一にクロスさせます。

[dV-S\_60\_XXX]プリセットは、60Hz でローパスフィルタリングされたサブウーファーシステムと dV-SUB システムの併用を可能にする 60Hz のハイパスフィルターを含んでいます。

[SB18\_xxx\_C]と[SB28\_xxx\_C] SB18 と SB28 サブウーファーを使用してカーディオイド・カバレッジ・アレーを構成する、特定のイコライゼーション・セッティングを備えています。(SB18 と SB28 のユーザーマニュアル[2.3])SB118 と SB218 サブウーファーの場合は、[SB118\_xxx\_C]と[SB218\_xxx\_C]プリセットになります。

表 17 では、4 つのアウトプット・チャンネルは、以下のように”xx\_x”で表示されています。

- 最初の 2 桁は、対応するアウトプット・チャンネルに接続されるトランスデューサーの種類を示しています。  
LF, MF, HF: それぞれ、低域、中域、高域トランスデューサー  
SB: サブウーファー  
SR: カーディオイド・アプリケーション、反転型サブウーファー
- 最後の桁は、アウトプットがどの入力チャンネルによりドライブされるか示しています。  
A, B: それぞれ、インプット A または B によってドライブされるアウトプット

表 17: LA8JP のファクトリー・プリセットの詳細(バージョン 2.3)

N°	PRESET NAME	OUT 1	OUT 2	OUT 3	OUT 4	DESCRIPTION	FAMILY
11	K1	LF_A	LF_A	MF_A	HF_A	K1, full range	K1
12	K1SB_60	SB_A	SB_A	SB_A	SB_A	K1-SB, LPF=60 Hz, optimized for [K1] preset in CONTOUR configuration	K1-SB
13	K1SB_X	SB_A	SB_A	SB_A	SB_A	K1-SB, LPF=200 Hz, optimized for [K1] preset in THROW configuration	K1-SB
14	V-DOSC_LO	LF_A	LF_A	MF_A	HF_A	V-DOSC, full range, LO contour	V-DOSC
15	V-DOSC_LO_60	LF_A	LF_A	MF_A	HF_A	V-DOSC, HPF=60 Hz, LO contour	V-DOSC
16	V-DOSC_LO_X	LF_A	LF_A	MF_A	HF_A	V-DOSC, full range, LO contour, optimized for SB218 & dV-SUB X presets	V-DOSC
17	V-DOSC_HI	LF_A	LF_A	MF_A	HF_A	V-DOSC, full range, HI contour	V-DOSC
18	V-DOSC_HI_60	LF_A	LF_A	MF_A	HF_A	V-DOSC, HPF=60 Hz, HI contour	V-DOSC
19	V-DOSC_HI_X	LF_A	LF_A	MF_A	HF_A	V-DOSC, full range, HI contour, optimized for SB218 & dV-SUB X presets	V-DOSC
20	KUDO50_25	LF_A	LF_A	MF_A	HF_A	KUDO, HPF=25 Hz, 50° K-Louver settings	KUDO
21	KUDO50_40	LF_A	LF_A	MF_A	HF_A	KUDO, HPF=40 Hz, 50° K-Louver settings	KUDO
22	KUDO50_60	LF_A	LF_A	MF_A	HF_A	KUDO, HPF=60 Hz, 50° K-Louver settings	KUDO
23	KUDO80_25	LF_A	LF_A	MF_A	HF_A	KUDO, HPF=25 Hz, 80° K-Louver settings	KUDO
24	KUDO80_40	LF_A	LF_A	MF_A	HF_A	KUDO, HPF=40 Hz, 80° K-Louver settings	KUDO
25	KUDO80_60	LF_A	LF_A	MF_A	HF_A	KUDO, HPF=60 Hz, 80° K-Louver settings	KUDO
26	KUDO110_25	LF_A	LF_A	MF_A	HF_A	KUDO, HPF=25 Hz, 110° K-Louver settings	KUDO
27	KUDO110_40	LF_A	LF_A	MF_A	HF_A	KUDO, HPF=40 Hz, 110° K-Louver settings	KUDO
28	KUDO110_60	LF_A	LF_A	MF_A	HF_A	KUDO, HPF=60 Hz, 110° K-Louver settings	KUDO
29	KARA	LF_A	HF_A	LF_A	HF_A	KARA, full range	KARA
30	KARA_FI	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	KARA, HPF=100 Hz, FI contour	KARA
31	KARADOWNK1	LF_A	HF_A	LF_A	HF_A	KARA, HPF=100 Hz, optimized delay for K1 downfill	KARA
32	dV_FI	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	dV-DOSC, full range, FI contour	dV-DOSC
33	dV_LO	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	dV-DOSC, full range, LO contour	dV-DOSC
34	dV_LO_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	dV-DOSC, HPF=100 Hz, LO contour	dV-DOSC
35	dV_HI	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	dV-DOSC, full range, HI contour	dV-DOSC
36	dV_HI_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	dV-DOSC, HPF=100 Hz, HI contour	dV-DOSC
37	dV_dV-S_LO	SB_A	SB_A	LF_B	HF_B	dV-DOSC & dV-SUB, full range, X-OVER=100 Hz, LO contour	dV-D_dVS
38	dV_dV-S_LO60	SB_A	SB_A	LF_B	HF_B	dV-DOSC & dV-SUB, HPF=60 Hz, X-OVER=100 Hz, LO contour	dV-D_dVS
39	dV_dV-S_HI	SB_A	SB_A	LF_B	HF_B	dV-DOSC & dV-SUB, full range, X-OVER=100 Hz, HI contour	dV-D_dVS
40	dV_dV-S_HI60	SB_A	SB_A	LF_B	HF_B	dV-DOSC & dV-SUB, HPF=60 Hz, X-OVER=100 Hz, HI contour	dV-D_dVS
41	dV-S_60_100	SB_A	SB_A	SB_B	SB_B	dV-SUB, HPF=60 Hz, LPF=100 Hz	dV-SUB
42	dV-S_100	SB_A	SB_A	SB_B	SB_B	dV-SUB, LPF=100 Hz	dV-SUB
43	dV-S_60_X	SB_A	SB_A	SB_B	SB_B	dV-SUB, HPF=60 Hz, LPF=200 Hz, optimized for [V-DOSC_xx_60] presets	dV-SUB
44	dV-S_X	SB_A	SB_A	SB_B	SB_B	dV-SUB, LPF=200 Hz, optimized for V-DOSC X presets	dV-SUB
45	ARCS II	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	ARCS II, full range	ARCS II
46	ARCS_LO	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	ARCS, full range, LO contour	ARCS
47	ARCS_LO_60	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	ARCS, HPF=60 Hz, LO contour	ARCS
48	ARCS_LO_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	ARCS, HPF=100 Hz, LO contour	ARCS

# LA4JP AND LA8JP PRESET LIBRARIES

ユーザーマニュアル

VERSION 2.2.2.3A

49	ARCS_HI	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	ARCS, full range, HI contour	ARCS
50	ARCS_HI_60	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	ARCS, HPF=60 Hz, HI contour	ARCS
51	ARCS_HI_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	ARCS, HPF=100 Hz, HI contour	ARCS
52	HIQ_FI	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	HIQ, full range, FI contour	115XTHiQ
53	HIQ_FI_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	HIQ, HPF=100 Hz, FI contour	115XTHiQ
54	HIQ_FR	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	HIQ, full range, FR contour	115XTHiQ
55	HIQ_FR_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	HIQ, HPF=100 Hz, FR contour	115XTHiQ
56	HIQ_MO	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	HIQ, full range, MO contour	115XTHiQ
57	HIQ_MO_100	LF_A	HF_A	LF_B	HF_B	HIQ, HPF=100 Hz, MO contour	115XTHiQ
58	SB18_60	SB_A	SB_A	SB_B	SB_B	SB18, LPF=60 Hz	SB18
59	SB18_100	SB_A	SB_A	SB_B	SB_B	SB18, LPF=100 Hz	SB18
60	SB18_60_C	SR_A	SB_A	SB_A	SB_A	SB18, LPF=60 Hz, cardioid coverage pattern	SB18
61	SB18_100_C	SR_A	SB_A	SB_A	SB_A	SB18, LPF=100 Hz, cardioid coverage pattern	SB18
62	SB118_60	SB_A	SB_A	SB_B	SB_B	SB118, LPF=60 Hz	SB118
63	SB118_100	SB_A	SB_A	SB_B	SB_B	SB118, LPF=100 Hz	SB118
64	SB118_60_C	SR_A	SB_A	SB_A	SB_A	SB118, LPF=60 Hz, cardioid coverage pattern	SB118
65	SB118_100_C	SR_A	SB_A	SB_A	SB_A	SB118, LPF=100 Hz, cardioid coverage pattern	SB118
66	SB28_60	SB_A	SB_A	SB_B	SB_B	SB28, LPF=60 Hz	SB28
67	SB28_100	SB_A	SB_A	SB_B	SB_B	SB28, LPF=100 Hz	SB28
68	SB28_60_C	SR_A	SB_A	SB_A	SB_A	SB28, LPF=60 Hz, cardioid coverage pattern	SB28
69	SB28_100_C	SR_A	SB_A	SB_A	SB_A	SB28, LPF=100 Hz, cardioid coverage pattern	SB28
70	SB218_60	SB_A	SB_A	SB_B	SB_B	SB218, LPF=60 Hz	SB218
71	SB218_100	SB_A	SB_A	SB_B	SB_B	SB218, LPF=100 Hz	SB218
72	SB218_X	SB_A	SB_A	SB_B	SB_B	SB218, LPF=200 Hz, optimized for V-DOSC X presets	SB218

## 5.2 メインシステムとサブウーファーシステムを併用する場合のディレイ値

表 18 は、メインシステムとサブウーファーシステムを併用する際に適用するディレイの値を示しています。


	<p>それぞれのディレイの値は、対応するシステムに関連する全てのエンクロージャーに適用されなくてはなりません。ディレイの値は、エンクロージャーが同一平面上に配置された場合の値です。同一平面上に配置されていない場合は、表 18 の値を合せ直す必要があります。</p>
---	--

表 18: システムの組み合わせと関連するディレイ

System combinations	Associated delays for each system		
[K1] + [K1SB_X], THROW configuration	K1 = 0 ms	K1-SB = 0 ms	
[K1] + [K1SB_60], CONTOUR configuration, K1 beside K1-SB	K1 = 6 ms	K1-SB = 0 ms	
[K1] + [K1SB_60], CONTOUR configuration, K1 behind K1-SB	K1 = 11 ms	K1-SB = 0 ms	
[K1] + [SB28_60]	K1 = 0 ms	SB28 = 6 ms	
[K1] + [SB28_60_C]	K1 = 0 ms	SB28 = 0.5 ms	
[K1] + [K1SB_60], K1-SB beside K1 & [SB28_60] K1	K1 = 8 ms	K1-SB = 2 ms	SB28 = 0 ms
[K1] + [K1SB_60], K1-SB beside K1 & [SB28_60_C]	K1 = 13.5 ms	K1-SB = 7.5 ms	SB28 = 0 ms
[K1] + [K1SB_60], K1-SB behind K1 & [SB28_60]	K1 = 11 ms	K1-SB = 0 ms	SB28 = 3 ms
[K1] + [K1SB_60], K1-SB behind K1 & [SB28_60_C]	K1 = 13.5 ms	K1-SB = 2.5 ms	SB28 = 0 ms
[K1] + [KARADOWNK1], DOWNFILL configuration	K1 = 0 ms	KARA = 0.73 ms (Already implemented in the [KARADOWNK1])	
[V-DOSC_LO/HI_60] + [dV_LO/HI_100]	V-DOSC = 0 ms	d V-DOSC = 0 ms	
[V-DOSC_LO/HI_60] + [SB218_60]	V-DOSC = 0 ms	SB218 = 3.8 ms	
[V-DOSC_LO/HI_60] + [SB28_60]	V-DOSC = 0 ms	SB28 = 3.8 ms	
[V-DOSC_LO/HI_60] + [SB28_60_C]	V-DOSC = 1.7 ms	SB28 = 0 ms	
[V-DOSC_LO/HI_X] + [SB218_X]	V-DOSC = 1.8 ms	SB218 = 0 ms	
[V-DOSC_LO/HI_X] + [dV-S_X]	V-DOSC = 0 ms	dV-SUB = 0.2 ms	
[V-DOSC_LO/HI_60] + [dV_LO/HI_100], DOWNFILL configuration	V-DOSC = 0 ms	dV-DOSC = 0.04 ms	
[V-DOSC_LO/HI_60] + [dV-S_60_X] + [SB218_60]	V-DOSC = 0 ms	d V-SUB = 0.2 ms	SB218 = 3.7 ms
[V-DOSC_LO/HI_60] + [dV-S_60_X] + [SB28_60]	V-DOSC = 0 ms	d V-SUB = 0.2 ms	SB218 = 3.7 ms
[V-DOSC_LO/HI_60] + [dV-S_60_X] + [SB28_60_C]	V-DOSC = 1.9 ms	dV-SUB = 2 ms	SB28 = 0 ms
[KUDO50/80/110_60] + [SB118_60]	K UDO = 0 ms	S B118 = 3.5 ms	
[KUDO50/80/110_60] + [SB118_60_C]	KUDO = 2 ms	SB118 = 0 ms	
[KUDO50/80/110_60] + [SB18_60]	KUDO = 0 ms	SB18 = 3.9 ms	
[KUDO50/80/110_60] + [SB18_60_C]	KUDO = 1.6 ms	SB18 = 0 ms	
[KUDO50/80/110_60] + [SB218_60]	KUDO = 0 ms	SB218 = 5 ms	
[KUDO50/80/110_60] + [SB28_60]	KUDO = 0 ms	SB28 = 5 ms	
[KUDO50/80/110_60] + [SB28_60_C]	KUDO = 0.5 ms	SB28 = 0 ms	
[KARA] + [SB18_100]	KARA = 0 ms	SB18 = 0 ms	
[KARA] + [SB18_100_C]	KARA = 5.5 ms	SB18 = 0 ms	
[KARA] + [SB18_60]	KARA = 2.5 ms	SB18 = 0 ms	
[KARA] + [SB18_60_C]	KARA = 8 ms	SB18 = 0 ms	
[KARA] + [SB28_100]	KARA = 0 ms	SB28 = 1.35 ms	
[KARA] + [SB28_100_C]	KARA = 4.2 ms	SB28 = 0 ms	
[KARA] + [SB28_60]	KARA = 0.3 ms	SB28 = 0 ms	
[KARA] + [SB28_60_C]	KARA = 5.9 ms	SB28 = 0 ms	
[KARA] + [SB18_100] & [SB28_60]	KARA = 0 ms	SB18 = 0 ms	SB28 = 1.3 ms
[KARA] + [SB18_100] & [SB28_60_C]	KARA = 4.2 ms	SB18 = 4.2 ms	SB28 = 0 ms
[dV_LO/HI_100] + [dV-S_100]	d V = 0 ms	d V-SUB = 0 ms	
[dV_LO/HI_100] + [SB118_100]	dV = 2.7 ms	SB118 = 0 ms	
[dV_LO/HI_100] + [SB18_100]	dV = 2.4 ms	SB18 = 0 ms	
[dV_LO/HI_100] + [SB218_100]	dV = 0.8 ms	SB218 = 0 ms	
[dV_LO/HI_100] + [SB28_100]	dV = 0.8 ms	SB28 = 0 ms	
[dV_LO/HI_100] + [SB118_100_C]	dV = 8.3 ms	SB118 = 0 ms	
[dV_LO/HI_100] + [SB18_100_C]	dV = 8 ms	SB18 = 0 ms	
[dV_LO/HI_100] + [SB28_100_C]	dV = 6.3 ms	SB28 C = 0 ms	

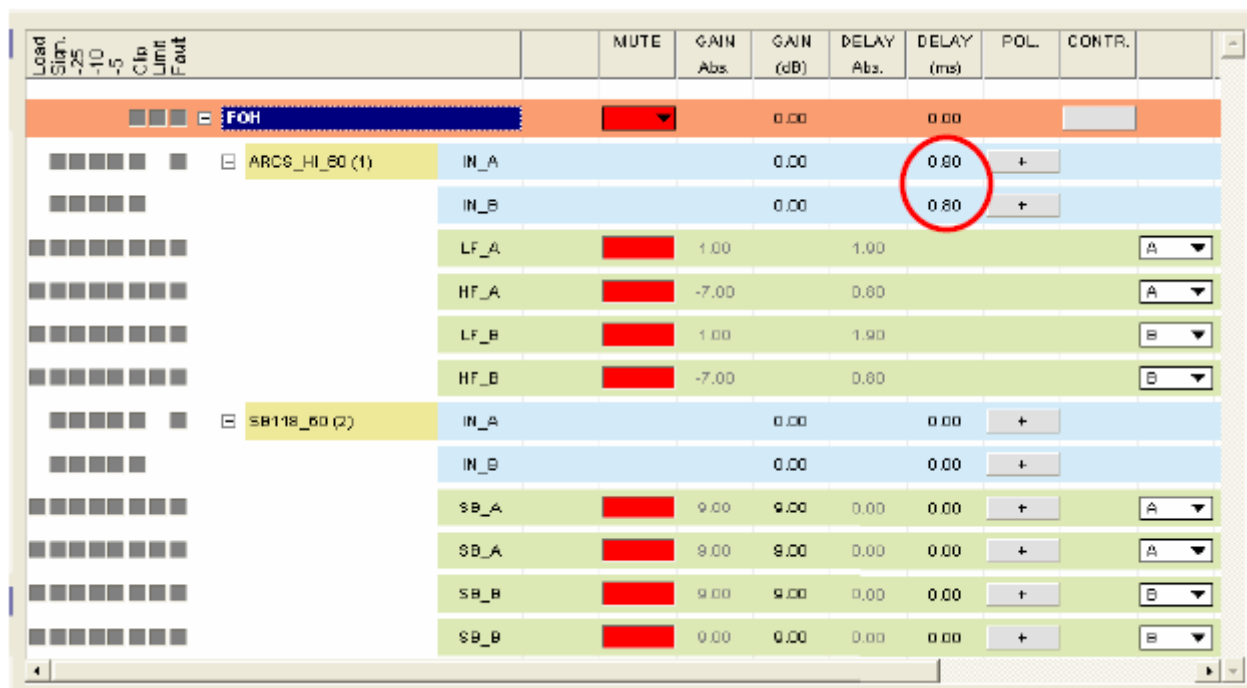
# LA4JP AND LA8JP PRESET LIBRARIES

ユーザーマニュアル

VERSION 2.2.2.3A

[dV_LO/HI_100] + [dV-S_60_100] + [SB118_60]	dV = 0 ms	dV-SUB = 0.75 ms	SB118 = 4 ms
[dV_LO/HI_100] + [dV-S_60_100] & [SB18_60]	dV = 0 ms	dV-SUB = 0.75 ms	SB18 = 4.4 ms
[dV_LO/HI_100] + [dV-S_60_100] + [SB218_60]	dV = 0 ms	dV-SUB = 0.75 ms	SB218 = 4.5 ms
[dV_LO/HI_100] + [dV-S_60_100] + [SB28_60]	dV = 0 ms	dV-SUB = 0.75 ms	SB28 = 4.5 ms
[dV_LO/HI_100] + [dV-S_60_100] + [SB118_60_C]	dV = 1 ms	dV-SUB = 2.25 ms	SB118 = 0 ms
[dV_LO/HI_100] + [dV-S_60_100] & [SB18_60_C]	dV = 1.1 ms	dV-SUB = 1.85 ms	SB18 = 0 ms
[dV_LO/HI_100] + [dV-S_60_100] + [SB28_60_C]	dV = 0.5 ms	dV-SUB = 1.75ms	SB28 = 0 ms
[ARCS II] + [SB28_60]	ARCS II = 0ms	SB28 = 2.6 ms	
[ARCS II] + [SB28_60_C]	ARCS II = 2.8ms	SB28 = 0 ms	
[ARCS_LO/HI_60] + [SB118_60]	ARCS = 0.8 ms	SB118 = 0 ms	
[ARCS_LO/HI_100] + [SB118_100]	ARCS = 1.4 ms	SB118 = 0 ms	
[ARCS_LO/HI_60] + [SB18_60]	ARCS = 0.4 ms	SB18 = 0 ms	
[ARCS_LO/HI_100] + [SB18_100]	ARCS = 1.1 ms	SB18 = 0 ms	
[ARCS_LO/HI_60] + [SB28_60]	ARCS = 0 ms	SB28 = 0.6 ms	
[ARCS_LO/HI_100] + [SB28_100]	ARCS = 0 ms	SB28 = 0.5 ms	
[ARCS_LO/HI_60] + [SB218_60]	ARCS = 0 ms	SB218 = 0.9 ms	
[ARCS_LO/HI_100] + [SB218_100]	ARCS = 0 ms	SB218 = 0.3 ms	
[ARCS_LO/HI_60] + [SB118_60_C]	ARCS = 6.3 ms	SB118 = 0 ms	
[ARCS_LO/HI_100] + [SB118_100_C]	ARCS = 6.9 ms	SB118 = 0 ms	
[ARCS_LO/HI_60] + [SB18_60_C]	ARCS = 5.9 ms	SB18 = 0 ms	
[ARCS_LO/HI_100] + [SB18_100_C]	ARCS = 6.6 ms	SB18 = 0 ms	
[ARCS_LO/HI_60] + [SB28_60_C]	ARCS = 4.9 ms	SB28 = 0 ms	
[ARCS_LO/HI_100] + [SB28_100_C]	ARCS = 5.0 ms	SB28 = 0 ms	
[HIQ_FL_100] + [SB118_100]	HiQ = 2.6 ms	SB118 = 0 ms	
[HIQ_FR_100] + [SB118_100]	HiQ = 2.6 ms	SB118 = 0 ms	
[HIQ_MO_100] + [SB118_100]	HiQ = 2.5 ms	SB118 = 0 ms	
[HIQ_FL_100] + [SB18_100]	HiQ = 2.3 ms	SB18 = 0 ms	
[HIQ_FR_100] + [SB18_100]	HiQ = 2.3 ms	SB18 = 0 ms	
[HIQ_MO_100] + [SB18_100]	HiQ = 2.2 ms	SB18 = 0 ms	
[HIQ_FL_100] + [dV-S_100]	HiQ = 0.6 ms	dV-SUB = 0 ms	
[HIQ_FR_100] + [dV-S_100]	HiQ = 0.6 ms	dV-SUB = 0 ms	
[HIQ_MO_100] + [dV-S_100]	HiQ = 0.5 ms	dV-SUB = 0 ms	

ディレイは、下記の例で示されている通り、LA NETWORK MANGER ソフトウェアから設定することができます。ARCS®と SB118 のスリーウェイ・システムは、[ARCS\_HI\_60]と[SB118\_60]プリセットを使用して作られます。表 18 は ARCS®に適用するディレイ値である 0.8ms を示しています。従って、LA NETWORK MANGER インターフェースは下記の通りに構成されなければなりません:



Load	Str.	MUTE	GAIN Abs.	GAIN (dB)	DELAY Abs.	DELAY (ms)	POL.	CONTR.
	FOH			0.00		0.00		
	ARCS_HI_60 (1)			0.00		0.80	+	
				0.00		0.80	+	
			1.00	1.00			A	
			-7.00	0.00			A	
			1.00	1.90			B	
			-7.00	0.00			B	
	SB118_60 (2)			0.00		0.00	+	
				0.00		0.00	+	
			9.00	9.00	0.00	0.00	+	A
			9.00	9.00	0.00	0.00	+	A
			9.00	9.00	0.00	0.00	+	B
			0.00	0.00	0.00	0.00	+	B

図 4: LA-NETWORK MANAGER インターフェース



いくつかの”ロー・エクステンション”ファクトリー・プリセットは、2つの異なるプリセットを結合し、1つのプリセットにすることができます。”ハイブリッド”プリセットを使用する場合、ディレイは既に設定されており、修正の必要はありません。

例: [dV\_dV-S\_LO60] + [SB118\_60]プリセットの組み合わせが、[dV\_LO\_100] + [dV-S\_60\_100] + [SB118\_60]プリセットの代わりに使用される場合、dV-SUB に対して 1.25 ms のディレイ値が既に設定されていることとなります。それに対し、単一のプリセットの一部であるため、SB118 に対しては 4.5 ms のディレイを設定しなければなりません。

注: ディレイは、アンプリファイド・コントローラーのフロントパネルからも設定することができます(LA8JP のユーザーマニュアル [2.3]をご参照ください)。

## 5.3 K1 WST® システム

### 5.3.1 “フルレンジ”モード: [K1] プリセット

“フルレンジ”モードでは、K1 エンクロージャーは、多くのアプリケーションにおいて、サブウーファーを用いずに、スタンドアローン・コンフィギュレーションを構成できるよう最大の低域拡張をもたらします。

[K1]プリセットは、35Hz の低域リミットをもたらす最適化された低域シェルビングEQ と結び付くローセクショに対し、ハイパスフィルターを備えています。

“フルレンジ”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 19:[K1]プリセットでアクセス可能なパラメーター

LA8JP Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input Signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	Left LF transducer	LF_A	O	X	X	X
OUT 2	Right LF transducer	LF_A	O	X	X	X
OUT 3	MF section	MF_A	O	X	X	X
OUT 4	HF section	HF_A	O	X	X	X

\* IN: input signal. A, B: channel A, B. LF: low frequency transducer. MF: medium frequency transducer. HF: high frequency transducer.

### 5.3.2 “拡張”モード: [K1SB\_X]、か [K1SB\_60]と組み合わせられる [K1]プリセット

“拡張”モードでは、K1 エンクロージャーは、以下のコンフィギュレーションで、専用の LF エンクロージャーL-ACOUSTICS®K1-SB と組み合わせられます。(“K1”または“K1-SB のユーザーマニュアル[2.3]をご参照ください)。

- “スロー”コンフィギュレーションでは、アレーの高さが増し、システムのスローの機能を強化するため、K1 ラインソースアレーの上部に K1-SB エンクロージャーを配置します。[K1]と[K1SB\_X] プリセットを組み合わせます。
- “コンター”コンフィギュレーションでは、システムのスローの周波数特性を強化し、横側と背面のLFにおける干渉を無くするため、K1ラインソースアレーのサイドか後方にK1-SB ラインアレーを配置します。[K1]と[K1SB\_60]プリセットを組み合わせます。

両コンフィギュレーションにおいて、構成したシステムの低域のリミットは35Hz となり、推奨する比率は、K1 x 2台に対し、K1-SB x 1台です。“拡張”モードでアクセス可能なパラメーターは、[K1]プリセットについては表19で、[K1SB\_X]と[K1SB\_60]プリセットについては表20で示されています。

表 20: [K1SB\_X]と[K1SB\_60]プリセットでアクセス可能なパラメーター

LA8JP Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input Signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	K1-SB subwoofer	SB_A	O	X	X	X
OUT 2	K1-SB subwoofer	SB_A	O	X	X	X
OUT 3	K1-SB subwoofer	SB_A	O	X	X	X
OUT 4	K1-SB subwoofer	SB_A	O	X	X	X

\* IN: input signal. A,B: channel A,B. SB: subwoofer enclosure.

## 5.4 V-DOSC® WST® システム

### 5.4.1 “フルレンジ”モード: [V-DOSC], [V-DOSC\_HI]プリセット

[V-DOSC\_LO]と[V-DOSC\_HI]プリセットは、ロングスロー・アプリケーション向けに作られた、専用のシステム特性を備えています。バンド幅の LF のリミットは 40Hz です。

[V-DOSC\_LO]プリセットは、スタンダードな高域特性を備えています。

[V-DOSC\_HI]プリセットは、増幅された高域特性を備えています (LO プリセットに対し、高域シェルビング EQ に 3dB の違い)。

“フルレンジ”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 21: “フルレンジ”モードでアクセス可能なパラメーター

LA8JP Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input Signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	Left LF transducer	LF_A	O	X	X	X
OUT 2	Right LF transducer	LF_A	O	X	X	X
OUT 3	MF section	MF_A	O	X	X	X
OUT 4	HF section	HF_A	O	X	X	X

\* IN: input signal. A, B: channel A, B. LF: low frequency transducer. MF: medium frequency transducer. HF: high frequency transducer.

### 5.4.2 “ハイパス”モード: [V-DOSC\_LO\_60], [V-DOSC\_HI\_60]プリセット

[V-DOSC\_LO\_60]と[V-DOSC\_HI\_60]プリセットは、メインシステムと、60Hz でローパスフィルタリングされた SB28 サブウーファースystem [SB28\_60]との併用を可能にする 60Hz のハイパスフィルターを含んでいます。推奨する割合は、SB28 x2 台に対し、V-DOSCx3 台です。

“ハイパス”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。SB218の場合も同じです。

表 22: “ハイパス”モードでアクセス可能なパラメーター


LA8JP Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input Signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	Left LF transducer	LF_A	O	X	X	X
OUT 2	Right LF transducer	LF_A	O	X	X	X
OUT 3	MF section	MF_A	O	X	X	X
OUT 4	HF section	HF_A	O	X	X	X

\* IN: input signal. A, B: channel A, B. LF: low frequency transducer. MF: medium frequency transducer. HF: high frequency transducer.

注: もしも、サブウーファークローザーが上記のプリセットと合わせて使用されている場合、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルのインストラクションを参照してください。

#### 5.4.3 “拡張”モード: [V-DOSC\_LO\_X]と[V-DOSC\_HI\_X]プリセット

[V-DOSC\_LO\_X]と[V-DOSC\_HI\_X]プリセットは、システムの低周波数エネルギーを増幅するため、V-DOSC®システムと、200Hz でローパスフィルタリングされた SB218 サブウーファーシステム [SB218\_X]、または dV-SUB [dV-S\_X]との併用を可能にする、フルレンジ・イコライゼーションを備えています。これらのプリセットは低周波数域で V-DOSC®とサブウーファーシステムのバンド幅を均一にクロスさせます。サブウーファーとローセクションに対し、共通のローパスフィルター(200Hz)を使用することにより、位相のバリエーションが得られ、音が歪むことを防ぐことができます。



X プリセットの使用は、V-DOSC®アレーと SB218/dV-SUB アレーが互いに接近してカップリングしている時のみ可能です。

“拡張モード”でアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 23: “拡張”モードでアクセス可能なパラメーター

LA8JP Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input Signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	Left LF transducer	LF_A	O	X	X	X
OUT 2	Right LF transducer	LF_A	O	X	X	X
OUT 3	MF section	MF_A	O	X	X	X
OUT 4	HF section	HF_A	O	X	X	X

\* IN: input signal. A, B: channel A, B. LF: low frequency transducer. MF: medium frequency transducer. HF: high frequency transducer.

注: もしも、サブウーファーエンクロージャーが上記のプリセットと合わせて使用されている場合、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルのインストラクションを参照してください。


#### 5.5 KUDO® WST® システム

##### 5.5.1 “フルレンジ”モード: [KUDOxx 25], [KUDOxx 40]プリセット

[KUDO50\_25]、[KUDO80\_25]、そして、[KUDO110\_25]プリセットは 25Hz のハイパスフィルターを備えており、低域リミットは、35Hz です。

[KUDO50\_40]、[KUDO80\_40]、そして、[KUDO110\_40]プリセットは 40Hz のハイパスフィルターを備えており、低域リミットは、40Hz です。

[KUDO50\_xx]、[KUDO80\_xx]、[KUDO110\_xx]プリセットは、K-LOUVER®の指向性セッティング(各 50、80°、または 110°)において、KUDO®システムの周波数特性を最適化するため、個別にイコライゼーションされています(KUDO ユーザーマニュアル[2.3]をご参照下さい)。



K-LOUVER® パネルが選択されたプリセットと一致している事を常に確認してください。

“フルレンジ”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 24: “フルレンジ”モードでアクセス可能なパラメーター

LA8JP Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	アクセス可 (O) アクセス不可 (X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input Signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	Left LF transducer	LF_A	O	X	X	X
OUT 2	Right LF transducer	LF_A	O	X	X	X
OUT 3	MF section	MF_A	O	X	X	X
OUT 4	HF section	HF_A	O	X	X	X

\* IN: input signal. A, B: channel A, B. LF: low frequency transducer. MF: medium frequency transducer. HF: high frequency transducer.

### 5.5.2 “ハイパス”モード: [KUDOxx\_60]プリセット

[KUDO50\_60]、[KUDO80\_60]、そして[KUDO110\_60]プリセットは、K-LOUVER®の指向性セッティング(各 50°、80° または 110°)において、KUDO®システムの周波数特性を最適化するため、60Hz のハイパスフィルターと、個別にコンポーネント・イコライゼーションを備えています(KUDO ユーザーマニュアル[2.3]をご参照下さい)。



K-LOUVER®パネルが選択されたプリセットと一致している事を常に確認してください。

これらのプリセットは、システムの低周波数のオペレーティングレンジを拡張するため、KUDO®システムと、SB18、SB28 サブウーファーを併用できるように設計されています。推奨する割合は KUDO®x3 台に対し、SB18x2 台、SB28x1 台です。やや高め増幅エネルギーを低域の周波数域で必要とするアプリケーションに対して推奨する割合は、KUDO®x2 台に対し、SB18x2 台、SB28x1 台です。

これらのプリセットは、低域バンド幅が縮小されているので、例えば、KUDO®アレーをセンター・クラスターで使用するなど、スタンドアロンでのアプリケーションにも適しています。

“ハイパス”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 25: “ハイパス”モードでアクセス可能なパラメーター

LA8JP Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	アクセス可 (O) アクセス不可 (X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input Signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	Left LF transducer	LF_A	O	X	X	X
OUT 2	Right LF transducer	LF_A	O	X	X	X
OUT 3	MF section	MF_A	O	X	X	X
OUT 4	HF section	HF_A	O	X	X	X

\* IN: input signal. A, B: channel A, B. LF: low frequency transducer. MF: medium frequency transducer. HF: high frequency transducer.

注: もしも、サブウーファーエンクロージャーが上記のプリセットと合わせて使用されている場合、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルのインストラクションを参照してください。

## 5.6 KARA® WST®システム

### 5.6.1 “フルレンジ”モード: [KARA] プリセット

[KARA]プリセットは、スタンドアローンで、中距離と長距離アプリケーション向けに作られた、専用のシステム・の特性を備えています。周波数レンジは、55Hz から 20kHz です。

フルレンジ モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 26:フルレンジ モードでアクセス可能なパラメーター

LA8JP Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	KARA enclosure	LF_A	O	X	X	X
OUT 2		HF_A	O	X	X	X
OUT 3	KARA enclosure	LF_A	O	X	X	X
OUT 4		HF_A	O	X	X	X

\* IN: input signal. A, B: channel A, B. LF: low frequency transducer. HF: high frequency transducer

### 5.6.2 “ハイパス”モード: [KARA FI ], [KARADOWNK1 ]プリセット

[KARA\_FI]プリセットは、短距離と中距離の分散アプリケーション向けに作られた、100Hz までの公称フラットなシステム・の特性を備えています。このプリセットは、1 台で使用することを意図しています。

[KARA\_FI]プリセットで、アクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 27: [KARA\_FI]プリセットでアクセス可能なパラメーター

LA8JP Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	KARA enclosure	LF_A	O	X	X	X
OUT 2		HF_A	O	X	X	X
OUT 3	KARA enclosure	LF_B	O	X	X	X
OUT 4		HF_B	O	X	X	X

\* IN: input signal. A, B: channel A, B. LF: low frequency transducer. HF: high frequency transducer

[KARADOWNK1]プリセットは、KARA®を K1 のダウンフィルシステムで使用する場合に、100Hz のハイパスフィルターと KARA と K1 アレーとの間の適正なデレイ値を備えたプリセットです。

[KARADOWNK1]プリセットで、アクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 28: [KARADOWNK1]プリセットでアクセス可能なパラメーター

LA8JP Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	KARA enclosure	LF_A	O	X	X	X
OUT 2		HF_A	O	X	X	X
OUT 3	KARA enclosure	LF_A	O	X	X	X
OUT 4		HF_A	O	X	X	X

\* IN: input signal. A, B: channel A, B. LF: low frequency transducer. HF: high frequency transducer

注: メインの K1 システムは、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。該当するプリセットに関しては、このマニュアルのインストラクションを参照してください。

### 5.6.3 “ロー・エクステンション”モード: [KARA] プリセット

[KARA]プリセットは、中距離と長距離アプリケーション向けに作られた、周波数レンジが 55Hz から 20kHz の、専用のシステム・の特性を備えています。これらのプリセットは、SB18 か SB28 サブウーファーシステムとの併用を意図し作られています。

SB18 と KARA の推奨する割合は、1:3 か 2:3 です。(KARA ユーザーマニュアル[2.3]参照) SB28 と SB18 と KARA の推奨する割合は、1:1:3 です。

注:[KARA]プリセットは、フルレンジモードとロー・エクステンションモードの両方で同じプリセットを使用します。

ローエクステンションモードで、アクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 29: ローエクステンションモードでアクセス可能なパラメーター

LA8JP Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	KARA enclosure	LF_A	O	X	X	X
OUT 2		HF_A	O	X	X	X
OUT 3	KARA enclosure	LF_A	O	X	X	X
OUT 4		HF_A	O	X	X	X

\* IN: input signal. A, B: channel A, B. LF: low frequency transducer. HF: high frequency transducer

注: もしも、サブウーファーエンクロージャーが上記のプリセットと合わせて使用されている場合、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルのインストラクションを参照してください。

## 5.7 dV-DOSC WST® システム

### 5.7.1 “フルレンジ”モード: [dV\_LO]、[dV\_HI]プリセット

[dV\_LO]と[dV\_HI]プリセットは、ロングスロー・アプリケーション向けに作られた、専用のシステムの特徴を備えています。バンド幅のLFのリミットは65Hzです。

- [dV\_LO]プリセットは、スタンダードな高域特性を備えています。
- [dV\_HI]プリセットは、増幅された高域特性を備えています (Loプリセットに対し、高域シュルビングEQに3dBの違い)

“フルレンジ”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 30: “フルレンジ”モードでアクセス可能なパラメーター

LA8JP Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	アクセス可 (O) アクセス不可 (X) パラメーター			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	dV-DOSC enclosure	LF_A	O	X	X	X
OUT 2		HF_A	O	X	X	X
OUT 3	dV-DOSC enclosure	LF_A	O	X	X	X
OUT 4		HF_A	O	X	X	X

\* IN: input signal. A, B: channel A, B LF: low frequency transducer. HF: high frequency transducer.

### 5.7.2 “ハイパス”モード: [dV\_LO\_100]、[dV\_HI\_100]、[dV\_FI] プリセット

[dV\_LO\_100]と[dV\_HI\_100]プリセットは、メインシステムと、100Hz でローパスフィルタリングされたサブウーファーシステムSB18[SB18\_100]、SB28[SB28\_100]との併用を可能にする 100Hz のハイパスフィルターを含んでいます。推奨する割合は、dV-DOSCx3 台に対し、SB18x2 台、SB28x1 台です。SB118 と SB218 の場合も同じです。

[dV\_LO\_100]と[dV\_HI\_100]プリセットは、V-DOSC®システムと併用したアップフィルかダウンフィル用での、dV-DOSC エンクロージャーの使用が意図されています。

[dV\_LO\_100]と[dV\_HI\_100]プリセットでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 31: [dV\_LO\_100]と[dV\_HI\_100]プリセットでアクセス可能なパラメーター

LA8JP Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	アクセス可 (O) アクセス不可 (X) パラメーター			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	dV-DOSC enclosure	LF_A	O	X	X	X
OUT 2		HF_A	O	X	X	X
OUT 3	dV-DOSC enclosure	LF_A	O	X	X	X
OUT 4		HF_A	O	X	X	X

\* IN: input signal. A, B: channel A, B LF: low frequency transducer. HF: high frequency transducer.

[dV\_F]プリセットは、近距離、または中距離分散型のアプリケーションに対し、100Hz までの公称フラットなシステムの特性を備えています。このプリセットは、0° から 7.5° まで調整可能なユニット間の角度で、1 台、または1ペアのエンクロージャー用です。

[dV\_F] プリセットでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 32: [dV\_F] プリセットでアクセス可能なパラメーター

LA8JP Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	dV-DOSC enclosure	LF_A	O	X	X	X
OUT 2		HF_A	O	X	X	X
OUT 3	dV-DOSC enclosure	LF_B	O	X	X	X
OUT 4		HF_B	O	X	X	X

\* IN: input signal. A, B: channel A, B. LF: low frequency transducer. HF: high frequency transducer.

注: もしも、サブウーファーエンクロージャーが上記のプリセットと合わせて使用されている場合、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルのインストラクションを参照してください。


### 5.7.3 “ロー・エクステンション”モード: [dV\_dV-S\_xx]と[dV\_dV-S\_xx60]プリセット

“ロー・エクステンション”モードでは、dV-DOSC エンクロージャーは、dV-SUB エンクロージャーと組み合わせて使用します。このシステムの周波数バンド幅は、35Hz までで、dV-SUB と dV-DOSC のローセクション間のクロスオーバー周波数は 100Hz です。推奨する割合は dV-DOSCx3 台に対し、dV-SUBx1 台です。

[dV\_dV-S\_LO]プリセットは、スタンダードな高域特性を備えています。

[dV\_dV-S\_HI]プリセットは、増幅された高域特性を備えています (LO プリセットに対し、高域シュルピング EQ に 3dB の違い)。

[dV\_dV-S\_LO60]と[dV\_dV-S\_HI60]プリセットは、4way アクティブ・コンフィギュレーションで dV-DOSC システム使用を可能にする 60Hz のハイパスフィルターを備えています。dV-DOSC と dV-SUB の組み合わせは、60Hz でローパスフィルターされたサブウーファー SB18[SB18\_60]か、SB28[SB28\_60]と組み合わせられます。推奨する割合は、dV-DOSCx3 台と dV-SUBx1 台の一組み合わせに対し、SB18x2 台か、SB28x1 台です。SB118 と SB218 の場合も同じです。



“ロー・エクステンション”プリセットは、以下のように組み合わせられたプリセットの使用により構築されます。

- [dV\_dV-S\_LO]=[dV\_LO\_100]+[dV-S\_100]
- [dV\_dV-S\_HI]=[dV\_HI\_100]+[dV-S\_100]
- [dV\_dV-S\_LO60]=[dV\_LO\_100]+[dV-S\_60\_100]
- [dV\_dV-S\_HI60]=[dV\_HI\_100]+[dV-S\_60\_100]

“ロー・エクステンション”モードでアクセス可能なパラメーターは以下の通りです。

表 33: “ロー・エクステンション”モードでアクセス可能なパラメーター

LA8JP Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	dV-SUB enclosure	SB_A	O	O	O	O
OUT 2	dV-SUB enclosure	SB_A	O	O	O	O
OUT 3	dV-DOSC enclosure	LF_B	O	X	X	X
OUT 4		HF_B	O	X	X	X

IN: input signal. A, B: channel A, B. SB: subwoofer enclosure.. HF: high frequency transducer.

注: もしも、サブウーファーエンクロージャーが上記のプリセットと合わせて使用されている場合、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルのインストラクションを参照してください。

## 5.8 ARCS II® WST® システム

### 5.8.1 “フルレンジ”モード: [ARCS II] プリセット

[ARCS II]プリセットは、スタンドアローンで、中距離アプリケーション向けに作られた、専用のシステムの特性を備えています。周波数レンジは、50Hz から 20kHz です。

フル・レンジモードのアクセス可能なパラメーターは以下の表の通りです。

表 34: “フル・レンジ”モードでアクセス可能なパラメーター

LA8JP Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input Signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	ARCS II® Enclosure	LF_A	O	X	X	X
OUT 2		HF_A	O	X	X	X
OUT 3	ARCS II® Enclosure	LF_B	O	X	X	X
OUT 4		HF_B	O	X	X	X

\* IN: input signal. A: input channel A. B: input channel B. LF: low frequency transducer. HF: high frequency transducer

### 5.8.2 “ロー・エクステンション”モード: [ARCS II] プリセット

[ARCS II]プリセットは、中距離アプリケーション向けに作られた、専用のシステムの特性を備えています。周波数レンジは、50Hz から 20kHz で、SB28 サブウーファーシステムとの併用を意図しています。

注:[ARCS II]プリセットは、フルレンジモードとロー・エクステンションモードの両方で同じプリセットを使用します。

ロー・エクステンションモードでアクセス可能なパラメーターは以下の表の通りです。

表 35: ロー・エクステンションモードでアクセス可能なパラメーター

LA8JP Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input Signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	ARCS II® Enclosure	LF_A	O	X	X	X
OUT 2		HF_A	O	X	X	X
OUT 3	ARCS II® Enclosure	LF_B	O	X	X	X
OUT 4		HF_B	O	X	X	X

\* IN: input signal. A: input channel A. B: input channel B. LF: low frequency transducer. HF: high frequency transducer

## 5.9 ARCS® WST® システム

### 5.9.1 “フルレンジ”モード:[ARCS\_LO]、[ARCS\_HI]プリセット

[ARCS\_LO]と[ARCS\_HI]プリセットは、中距離での使用を想定し設計された、専用のシステムの特徴を備えています。バンド幅 LF のリミットは 50Hz です。[ARCS\_LO]プリセットは、スタンダードな高域特性を備えています。[ARCS\_HI]プリセットは、増幅された高域特性を備えています ([ARCS\_LO]プリセットに対し、高域シェルビング EQ に 3dB の違い)

“フル・レンジ”モードのアクセス可能なパラメーターは以下の表の通りです。

表 36: “フル・レンジ”モードでアクセス可能なパラメーター

LA8JP Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input Signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	ARCS® Enclosure	LF_A	O	X	X	X
OUT 2		HF_A	O	X	X	X
OUT 3	ARCS® Enclosure	LF_B	O	X	X	X
OUT 4		HF_B	O	X	X	X

\* IN: input signal. A, B: channel A, B. LF: low frequency transducer. HF: high frequency transducer.

### 5.9.2 “ハイ・パス”モード:[ARCS\_xx\_60]、[ARCS\_xx\_100]プリセット

[ARCS\_xx\_60]と[ARCS\_xx\_100]プリセットは、中距離での使用向けに作られた、専用のシステムの特徴を備え、それぞれ、60Hz、もしくは 100Hz のハイパスフィルターを含んでいます。これらのプリセットは、SB18 か、SB28 サブウーファーシステムと併用の ARCS®システムの使用を意図し作られています。推奨する割合は、SB18x1 台につき ARCS®x1 台、SB28x1 台につき ARCS®x2 台です。SB118 と SB218 の場合も同じです。

注:これらのプリセットによるドライビングで、例として、センター・クラスターとして配置する場合、狭い低域バンド幅で ARCS®を使用することも可能です。

[ARCS\_xx\_60]プリセットは、SB18 か、SB28 サブウーファーとの併用、もしくはスタンドアローンでの使用を意図し作られており、サブウーファーと組み合わせる場合、[SB18\_60]、[SB28\_60]プリセットとの組み合わせでドライビングされます。SB118 と SB218 の場合も同じです。

[ARCS\_xx\_100]プリセットは、SB18 か、SB28 サブウーファーとの併用、もしくはスタンドアローンでの使用を意図し作られており、サブウーファーと組み合わせる場合、[SB18\_100]、[SB28\_100]プリセットとの組み合わせでドライビングされます。SB118 と SB218 の場合も同じです。

“ハイ・パス”モードでアクセス可能なパラメーターは以下の表の通りです。

表 37: “ハイ・パス”モードでアクセス可能なパラメーター

LA8JP Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input Signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	ARCS® Enclosure	LF_A	O	X	X	X
OUT 2		HF_A	O	X	X	X
OUT 3	ARCS® Enclosure	LF_B	O	X	X	X
OUT 4		HF_B	O	X	X	X

\* IN: input signal. A, B: channel A, B. LF: low frequency transducer. HF: high frequency transducer

注: もしも、サブウーファーエンクロージャーが上記のプリセットと合わせて使用されている場合、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルのインストラクションを参照してください。

#### 5.10 115XT HiQ コアキシャルエンクロージャー



- 115XT HiQ のモニタープリセットは、LA8JP プリセットライブラリーのバージョン 2.2 から最適化されています。

##### 5.10.1 “フルレンジ”モード: [HIQ\_FR]、[HIQ\_FI]、[HIQ\_MO]プリセット

“フルレンジ”モードで、115XT HiQ エンクロージャーは、低周波数拡張を必要としないアプリケーションのために、公称のバンド幅内でのスタンドアローン構成で使用されます。

[HIQ\_FI] “FILL”プリセットは、スピーチ、クラシック音楽、近距離でのエンクロージャー使用に公称フラットな特性をもたらします。

[HIQ\_FR] “FRONT”プリセットは、スタンドアローンでの FOH アプリケーション(サブウーファーを含まない)に使用します。

[HIQ\_MO] “MONITOR”プリセットは、ハーフスペースローディングのオペレート(フロアモニタリング、もしくは壁や天井に取り付けた場合)で、公称フラットな特性を生み出します。

115XT HiQ エンクロージャー“フルレンジ”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 38: 115XT HiQ エンクロージャー用の“フルレンジ”モードで使用可能なパラメーター

LA8JP Inputs/ Outputs	Elements to connect	Preset assignments*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメーター			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	115XT HiQ enclosure	LF_A	O	X**	X	X
OUT 2		HF_A	O	X	X	X
OUT 3	115XT HiQ enclosure	LF_B	O	X**	X	X
OUT 4		HF_B	O	X	X	X

\* IN: input signal. A, B: channel A, B. LF: low frequency transducer. HF: high frequency transducer

\*\*[HIQ\_MO]に関して、LFゲインの変更は可能。

##### 5.10.2 “ハイパス”モード: [HIQ\_FR\_100]、[HIQ\_FI\_100]、[HIQ\_MO\_100]プリセット

“ハイパス”モードでは、115XT HiQ エンクロージャーと、SB18 サブウーファーとの併用を可能にする 100Hz のハイパスフィルターを備えています。このシステムのバンド幅は 32Hz までです。推奨する割合は 115XT HiQx1 台に対し、SB18x1 台です。SB118 の場合も同じです。

- [HIQ\_FI\_100] “FILL”プリセットは、公称フラットな特性を生み出します。このプリセットは、100Hz のハイパスフィルターを備えています。
- [HIQ\_FR\_100] “FRONT”プリセットは、スタンドアローンでの FOH アプリケーション用です。このプリセットは、100Hz のハイパスフィルターを備えています。
- [HIQ\_MO\_100] “MONITOR”プリセットは、ハーフスペースローディングのオペレート(フロアモニタリング、もしくは壁や天井に取り付けた場合)で、公称フラットな特性を生み出します。このプリセットは、100Hz のハイパスフィルターを備えています。

115XT HiQエンクロージャー用の“ハイパス”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表39: 115XT HiQエンクロージャー用の“ハイパス”モードでアクセス可能なパラメーター

LA8JP Inputs/ Outputs	Elements to connect	Preset assignments*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	115XT HiQ enclosure	LF_A	O	X**	X	X
OUT 2		HF_A	O	X	X	X
OUT 3	115XT HiQ enclosure	LF_B	O	X**	X	X
OUT 4		HF_B	O	X	X	X

\* IN: input signal. A, B: channel A, B. LF: low frequency transducer. HF: high frequency transducer

\*\*[HiQ\_MO]に関して、LFゲインの変更は可能

注: もしも、サブウーファーエンクロージャーが上記のプリセットと合わせて使用されている場合、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルのインストラクションを参照してください。

## 5.11 サブウーファーエンクロージャー

サブウーファー、dV-SUB、SB18、SB28 エンクロージャーはメインシステムの低周波数特性を拡張するために使用されます。低域のリミットは、dV-SUB が 35Hz、SB18 が 32Hz、SB28 が 25Hz です。

このセクションで記載されている内容は、SB118、SB218 にもあてはまります。

### 5.11.1 “スタンダード”モード: [SBxxx\_60]、[SBxxx\_100]、[dV-S\_60\_100]、[dV-S\_100]プリセット

“スタンダード”モードは、全方向のカバーパターンを得るため、全サブウーファー・エンクロージャーのフロントをオーディエンス側に向けてアレーすることで構成されます。

例として、図 5 は、スタンダードな SB28 のヴァーチカル・アレーを示しています。サブウーファーのアレー構成に関しては、SB18、または SB28 のユーザーマニュアル[2.3]をよく読み、理解されるようにしてください。

注: このモードで、サブウーファー・エンクロージャーは、ステレオ、もしくは、分散のコンフィギュレーションでも使用することができます。

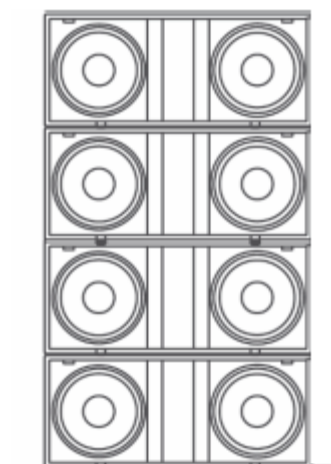


図 5: スタンダードの SB28 ヴァーチカル・アレー

[SB18\_60]プリセットは、KUDO®、KARA®、ARCS®、KIVA/KILO システムと組み合わせるサブウーファーとして SB18 を使用可能とする 60Hz ローパスフィルターを備えています。

[SB118\_60]プリセットは、KUDO®、dV-DOSC/dV-SUB、ARCS®、KIVA/KILO システムと組み合わせるサブウーファーとして SB118 を使用可能とする 60Hz ローパスフィルターを備えています。

# LA4JP AND LA8JP PRESET LIBRARIES

## ユーザーマニュアル

VERSION 2.2.2.3A

[SB18\_100]プリセットは、KARA®、ARCS®、XT システムを近い位置で組み合わせる場合のサブウーファーとして SB18 を使用可能にする 100Hz ローパスフィルターを備えています。

[SB118\_100]プリセットは、dV-DOSC、ARCS®、XT、MTD システムを近い位置で組み合わせる場合のサブウーファーとして SB118 を使用可能にする 100Hz ローパスフィルターを備えています。

**注:** SB18 と SB118 プリセットは、LA4JP のプリセットライブラリーでも使用可能です。

[SB28\_60]プリセットは、K1、V-DOSC®、KUDO®、dV-DOSC/dV-SUB、KARA®/SB18、ARCS II®、ARCS® システムと組み合わせるサブウーファーとして SB28 を使用可能とする 60Hz ローパスフィルターを備えています。

[SB218\_60]プリセットは、V-DOSC®、KUDO®、dV-DOSC/dV-SUB、ARCS® システムと組み合わせるサブウーファーとして SB218 を使用可能とする 60Hz ローパスフィルターを備えています。

[SB28\_100]プリセットは、dV-DOSC、KARA®、ARCS®システムを近い位置で組み合わせる場合のサブウーファーとして SB28 を使用可能にする 100Hz ローパスフィルターを備えています。

[SB218\_100]プリセットは、dV-DOSC、ARCS® システムを近い位置で組み合わせる場合のサブウーファーとして SB218 を使用可能にする 100Hz ローパスフィルターを備えています。

[dV-S\_60\_100]と[dV-S\_100]プリセットは、dV-DOSC システムと組み合わせるサブウーファーとして dV-SUB を使用可能とする 100Hz ローパスフィルターを備えています。

[dV-S\_60\_100] プリセットは、SB18 か、SB28 システムと組み合わせるサブウーファーとして dV-SUB を使用可能とする 60Hz ローパスフィルターを備えています。

“スタンダード”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 40: “スタンダード”モードでアクセス可能なパラメーター

LA8JP Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメーター			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	Subwoofer enclosure	SB_A	O	O	O	O
OUT 2	Subwoofer enclosure	SB_A	O	O	O	O
OUT 3	Subwoofer enclosure	SB_B	O	O	O	O
OUT 4	Subwoofer enclosure	SB_B	O	O	O	O

\* IN: input signal. A, B: channel A, B. SB: subwoofer enclosure.

**注:** もしも、サブウーファーエンクロージャーが上記のプリセットと合わせて使用されている場合、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルの該当するプリセットの項目を参照してください。

### 5.11.2 “カーディオイド”モード: [SBxxx\_60\_C]、[SBxxx\_100\_C] プリセット

“カーディオイド”モードは、リア側に最大の減衰をもたらし、カーディオイド・パターンのカバレッジを得るため、下部のエンクロージャーをフロントからリアへ反転させて構成します。

例として、図 6 は、SB28 のカーディオイド・ヴァーチカルアレーを示しています。サブウーファーのアレー構成に関しては、**SB18 または SB28 のユーザーマニュアル**[2.3]をよく読み、理解されるようにしてください。

**注:** この構成は、SB218 では使用できません。

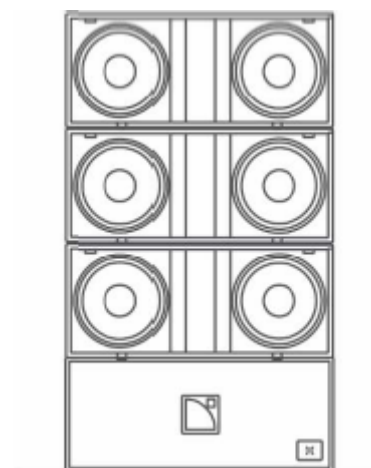


図 6: SB28 のカーディオイド・ヴァーチカルアレー(前面)

[SB18\_60\_C]プリセットは、KUDO®、KARA®、ARCS®、KIVA/KILO システムと組み合わせのサブウーファーとして SB18 を使用可能とする 60Hz ローパスフィルターを備えています。

[SB118\_60\_C]プリセットは、KUDO®、dV-DOSC/dV-SUB、ARCS®、KIVA/KILO システムと組み合わせるサブウーファーとして、SB118 を使用可能とする 60Hz ローパスフィルターを備えています。

[SB18\_100\_C]プリセットは、KARA®、ARCS®、XT システムを近い位置で組み合わせる場合のサブウーファーとして、SB18 を使用可能にする 100Hz ローパスフィルターを備えています。

[SB118\_100\_C]プリセットは、dV-DOSC、ARCS®、XT、MTD システムを近い位置で組み合わせる場合のサブウーファーとして、SB118 を使用可能にする 100Hz ローパスフィルターを備えています。

**注:** SB18 と SB118 プリセットは、LA4JP のプリセットライブラリーでも使用可能です。

[SB28\_60\_C]プリセットは、K1、V-DOSC®、KUDO®、dV-DOSC/dV-SUB、KARA®/SB18、ARCS® システムと組み合わせるサブウーファーとして SB28 を使用可能とする 60Hz ローパスフィルターを備えています。

[SB28\_100\_C]プリセットは、dV-DOSC、KARA®、ARCS®システムを近い位置で組み合わせる場合のサブウーファーとして、SB28 を使用可能にする 100Hz ローパスフィルターを備えています。

“カーディオイド”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 41: “カーディオイド”モードでアクセス可能なパラメーター

LA8JP Inputs/ Outputs	Elements to connect	Preset assignments*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	Reversed subwoofer enclosure	SR_A	O	X	X	X
OUT 2	Subwoofer enclosure	SB_A	O	X	X	X
OUT 3	Subwoofer enclosure	SB_A	O	X	X	X
OUT 4	Subwoofer enclosure	SB_A	O	X	X	X

\* IN: input signal. A, B: channel A, B. SR: reversed subwoofer enclosure.


**注:** メインシステムのエンクロージャーは、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルの該当するプリセットの項目を参照してください。

#### 5.11.3 “拡張”モード: [SB218\_X]、[dV-S\_60\_X]、[dV-S\_X] プリセット

“拡張”モードは、V-DOSC®エンクロージャーと共通の周波数バンド幅を共有できるよう、200Hz のローパスフィルターを備えています。これにより、システムのサブローの周波数特性を強化することができます。

[SB218\_X]と[dV-S\_X]プリセットは、[V-DOSC\_LO\_X]または[V-DOSC\_HI\_X]プリセットでドライブされる、フルレンジの V-DOSC®と SB218 と dV-SUB それぞれを近い位置で組み合わせることができます。

[dV-S\_60\_X]プリセットは、[V-DOSC\_LO\_60]または[V-DOSC\_HI\_60]プリセットでドライブされる、60Hz でハイパスフィルタリングされた V-DOSC®システムと組み合わせるサブウーファーとして、dV-SUB を使用可能にする 60Hz のハイパスフィルターを備えています。



X プリセットの使用は、V-DOSC®アレーと SB218/dV-SUB アレーが互いに接近してカップリングされている時のみ可能です。

“拡張”モードでアクセス可能なパラメーターは、以下の表の通りです。

表 42: “拡張”モードでアクセス可能なパラメーター

LA8JP Inputs / Outputs	Elements to connect	Preset Assignment*	アクセス可 (O) アクセス不可(X) パラメータ			
			Mute	Gain	Delay	Polarity
IN A	Input Signal A	IN_A	X	O	O	O
IN B	Input Signal B	IN_B	X	O	O	O
OUT 1	Subwoofer enclosure	SB_A	O	O	O	O
OUT 2	Subwoofer enclosure	SB_A	O	O	O	O
OUT 3	Subwoofer enclosure	SB_B	O	O	O	O
OUT 4	Subwoofer enclosure	SB_B	O	O	O	O

\* IN: input signal. A, B: channel A, B.. SB: subwoofer enclosure.

**注:** メインシステムのエンクロージャーは、アンプリファイドコントローラーを追加し、接続する必要があります。このマニュアルの該当するプリセットの項目を参照してください。



お問い合わせ先

 **ベストックオーディオ株式会社**

本社：〒130-0011 東京都墨田区石原 4-35-12 ☎ 03-6661-3825 FAX：03-6661-3826  
大阪（営）：〒531-0072 大阪市北区豊崎 3-4-14-602 ☎ 06-6359-7163 FAX：06-6359-7164

[www.bestecaudio.com](http://www.bestecaudio.com) info@bestecaudio.com

**Document reference: LA4-8-PRESET-LIBRARIES\_UM\_ML\_2-2-2-3a**

**Distribution date: October 10<sup>th</sup>, 2011**

© 2011 L-ACOUSTICS®. All rights reserved.

**No part of this publication may be reproduced or transmitted in any form  
or by any means without the express written consent of the publisher.**

---